

ソーシャルリスニング調査から見てきたターゲット旅行者ペルソナ①

ソフィアやルカのような人々は、『生きがい』をコンセプトとしたツアーの理想的な候補者となる。長寿生活の主要な要素を強調し、彼らの独自の動機に訴えかけることが効果的だと考える。

 Sophia/ソフィア ウェルネス志向の旅行者 (ウェルネス重視)	年齢層 ミレニアル世代 (26～41歳)
背景 企業勤めで、アウトドアやレジャーに興味がある一方で、マインドフルネス、ワークライフバランス、個人の成長にも関心がある。	概要 - 忙しい日常から逃れ、健康とリフレッシュを求める旅行者。静かな環境でのリトリート、ヨガや瞑想などのウェルネス体験を通じて、心身をリラックスさせたい。 - また、旅行先の文化を食事や文化体験を通じて楽しみたいと考えている。
『生きがい』をコンセプトとした旅行への動機 生活により深い意味とバランスを見出したいという願い。	旅行タイプ：ウェルネス志向の旅行者 身の健康やリフレッシュを目的とした旅行を求める人々を指す。彼らは通常、ヨガや瞑想、温泉、スパ、健康的な食事、マインドフルネスなどのウェルネス体験を重視し、ストレス解消や自己成長、リラクゼーションを目指している。仕事や日常の忙しさから離れ、バランスの取れたライフスタイルや自己ケアを追求する傾向が強い。目的地での自然や文化との調和、静かな環境、そして自分を見つめ直す時間を重視し、リトリートや健康関連のアクティビティを旅行の主軸にしている。

A good fit for the “strong social connections” and “sense of purpose” aspects of the Okinawan way of life
「沖縄のライフスタイルにおける '強い社会的つながり' と '目的意識' の側面に、ルカは非常に適している。」

ルカを惹きつけるためには、「生きがい」を旅行コンセプトとして、沖縄の伝統文化に深く触れる没入型の文化的旅としてプロモートしていくと効果的。この旅では、「生きがい」に関する哲学や沖縄のライフスタイルを体現する地元の人々から直接学ぶ機会が提供される。

A good fit for the “relaxed lifestyle” aspect of the Okinawan way of life
「彼女は、沖縄の『ゆったりとしたライフスタイル』にぴったり。」

ソフィアを引きつけるために、プロモーション素材では『生きがい』のコンセプトの変革的な力を強調し、この旅行が彼女の多忙な生活に明確さや目的を見出し、新しいバランスの取り方を提案できることを示す。マインドフルネスのワークショップと現地の文化体験を組み合わせたリトリートを提供するのが効果的。

 Luca/ルカ 文化追及者 (文化志向の旅行者)	年齢層 ミレニアル世代 (26～41歳)
背景 - フリーランスのライターで、多様な人々と出会い、さまざまな哲学や生活様式を探究することに情熱を持つ - 多様な文化が幸福や充実感にどう取り組むかを研究することに興味がある。 - 異なる料理に関心があり、新しい料理を試すことを楽しみにしている。	概要 - 文化的に多様な体験を求め、現地の慣習や生活様式を深く学ぶことに関心がある旅行者。 - 特に食文化に興味を持ち、新しい料理を試すことを楽しみにしている。
『生きがい』をコンセプトとした旅行への動機 異文化の哲学やその実践方法についての好奇心。	旅行タイプ：文化追及者（文化志向の旅行者） 異なる文化や人々との出会いを求め、深く学ぶことに興味があるタイプの旅行者。現地の習慣や生活様式、哲学に対する深い理解を追求し、地域の食文化や伝統的なライフスタイルを体験することに大きな価値を見出す。文化的な哲学や実践の学びを通じて、旅行を通じた自己成長や新たな視点の発見を目的としている。

ソーシャルリスニング調査から見てきたターゲット旅行者ペルソナ②

エミリーやマークのように、「生きがい」をコンセプトとして旅行体験を自ら求めるわけではない人々でも、それを通じてベネフィットを得る可能性がある。そのような人々には、彼らの興味と長寿ライフスタイルの主要な利点を融合させる提案をする。



Emily/エミリー
スリルを求める冒険好き
(エキサイティングな冒険を愛する人)

年齢層

ミレニアル世代 (26～41歳)

背景

- ・ハイキングやスキューバダイビング、新しい風景を探索することが大好きなアウトドア愛好家。
- ・常に次の冒険を探しており、自然の美しさやアウトドア活動で知られる場所を選ぶ傾向がある。
- ・健康志向ではあるが、イキガイやマインドフルネスといった概念には深く触れていない。

概要

このタイプの旅行者は常に新しい冒険を求め、自然の美しさやアウトドア活動で知られる場所を旅行先に選ぶため、スリルを求める人々。これらの観光客は、身体的な挑戦と自然の美しさを組み合わせた旅行体験に引き寄せられ、限界に挑むような経験を大切に。これらの旅行者は、文化体験よりもアウトドア冒険に重点を置いたアクティブな旅行パッケージを予約する傾向がある。

旅行タイプ：スリルを求める冒険好き

エキサイティングな体験を求めて自然豊かな場所を選び、ハイキングやスキューバダイビング、ラフティングなどの身体的挑戦を楽しむ旅行者。限界に挑戦するアクティビティを重視し、文化体験よりもアウトドアでの冒険を好む傾向がある。自然の美しさやアクティブな体験が融合する旅行先を好むのが特徴。

A good fit for a blend of “moderate exercise” with “coexistence with nature” aspects of the Okinawan way of life

「適度な運動」と「自然との共生」といった沖縄の生活様式の側面を融合させた体験が、エミリーに最適。」

エミリーを惹きつけるために、イキガイの概念を身体的な探求を超え、精神的・心の豊かさを含む冒険としてマーケティングする。たとえば、自然の風景をハイキングするアクティビティを提案し、自然と沖縄の生活様式とのつながりを強調することで、より深い体験を提供する。



Mark/マーク

内省的な旅行者
(マインドフルな旅を求める人)

年齢層

ベビーブーマー世代 (58歳から76歳)

背景

- ・リタイア後の旅行を楽しむ人々で、健康とウェルビーイングを大切に。イキガイのような哲学的・文化的概念にはまだ触れていない。
- ・自然観察や散歩といった軽いアウトドア活動を好み、スパや健康リトリートに定期的に訪れる。
- ・寺院を訪れるなど、文化的な没入体験を好む。

概要

退職後の余暇を楽しみながら、健康や自然豊かな場所を旅行先に選ぶ。これらの旅行者は、自然観察や散歩などの穏やかな活動や、スパや健康リトリートでの体験を通じてリラックスとリフレッシュを求めている。また、文化体験にも興味を持ち、旅を通じて内省し、新たな発見や学びを得たいと考えている。

『生きがい』をコンセプトとした旅行への動機

異文化の哲学やその実践方法についての好奇心。

旅行タイプ：

内省的な旅行者 (マインドフルな旅を求める人)

リラックスと心の充実を求める旅行者で、穏やかなアウトドア活動や自然との触れ合いを楽しむ。自然観察や散歩、スパや健康リトリートでの体験を好み、また文化的な没入体験にも興味を持っている。旅行を通じて内省し、新しい発見や学びを得ることを重視し、心身のバランスを整える旅を求める傾向がある。

A good fit for a blend of “relaxed lifestyle” with “strong social connection” aspects of the Okinawan way of life
「リラックスしたライフスタイル」と「強い社会的つながり」といった沖縄の生活様式の側面が、マークに適している。」

「生きがい」をコンセプトとして旅行を、単なるリラックス以上のウェルネスジャーニーとして提案し、マークを惹きつける。沖縄の自然療法、たとえば温泉の効果や、植物性食品中心の食事、地域社会とのつながりなど、「生きがい」の深い哲学を紹介することで魅力を高める。

- ・ 沖縄料理は、常に健康的な食事のモデルとして関心を集めている。
- ・ 島の長寿について探るNetflixのドキュメンタリー番組『Live to 100: Secrets of the Blue Zones』は、さらに検索数を増加させた。

図表1 検索指数（2022年6月～2024年7月）

2023年9月に公開されたこのドキュメンタリーは、沖縄のブルーゾーン哲学に触れています。

LIVE TO 100
SECRETS OF THE
BLUE ZONES

公開後、Business Insider、Airbnb、CNBCなどの影響力のあるウェブサイトがブルーゾーンと沖縄についての記事を掲載し、関心を高め続けています。

Month	Okinawa + Blue zone	Okinawa + Food	Okinawa + Culture	Okinawa + Ikigai	Okinawa + Longevity
Jun 2022	10	45	5	5	15
Jul 2022	15	60	5	10	10
Aug 2022	10	45	5	5	15
Sep 2022	15	25	15	5	5
Oct 2022	10	60	5	5	5
Nov 2022	10	40	5	5	5
Dec 2022	10	45	10	5	5
Jan 2023	15	65	15	10	5
Feb 2023	20	75	10	10	5
Mar 2023	15	45	5	10	5
Apr 2023	10	60	10	5	5
May 2023	10	35	5	10	5
Jun 2023	15	70	10	10	5
Jul 2023	10	45	5	5	5
Aug 2023	15	65	10	5	5
Sep 2023	60	95	25	20	10
Oct 2023	20	70	15	10	5
Nov 2023	15	45	10	10	5
Dec 2023	10	65	15	5	5
Jan 2024	20	75	10	10	5
Feb 2024	15	80	10	10	5
Mar 2024	30	65	15	10	5
Apr 2024	20	85	10	5	5
May 2024	15	75	10	5	5
Jun 2024	20	60	10	10	5
Jul 2024	10	75	5	5	5

沖縄特有の食・食文化へ高い関心が持たれており、旅行先の体験としても重要視している。



I recommend **eating delicious Okinawan fare**, like **goya champuru** (bitter melon stir fry), **purple sweet potatoes**, and **Orion beer**. Also, dive or snorkel in Okinawa's underwater world, home to rich coral reefs and marine biodiversity.

Ishigaki was amazing. Had some decent hikes and beautiful beaches. Snorkeling there was quite nice and peaceful. Have to **try Ishigaki beef** if you make it down there. Was **the best meal I had in Japan**.

A close-up photograph of a bowl of ramen. The bowl is dark-colored with a red rim. It contains a thick, yellowish-orange broth, long thin noodles, and several pieces of meat. The dish is garnished with a pile of green onions in the center. A pair of wooden chopsticks is resting on the left side of the bowl.

沖縄・奄美地域のツアーコンセプトの方向性

沖縄・奄美地域の特性や魅力を活かしたツアーコンセプトの仮説を設定した。



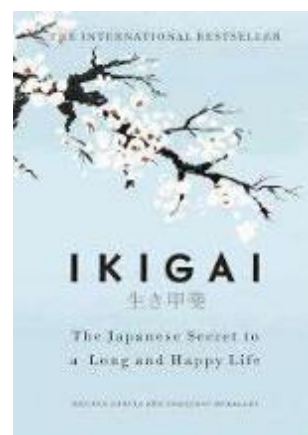
—— 沖縄・奄美地域のセンテナリアンのライフスタイル ——

キーワード：“Ikigai／生きがい”

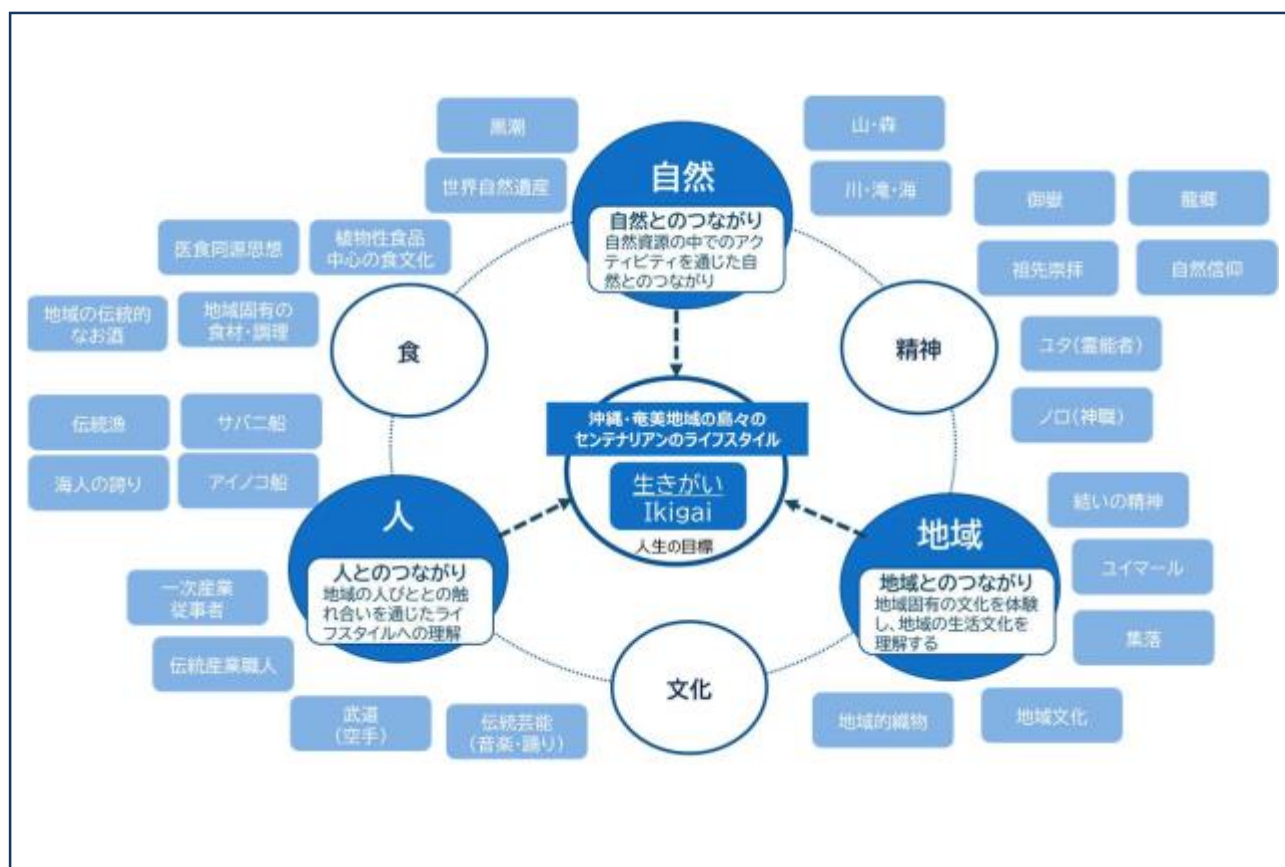
沖縄・奄美地域のセンテナリアンは、「生きがい」を大切に生活している。「地域のために」「子どもたちのために」といった明確な目的意識を持ち、家族や社会との強い絆を築いている。日常では、自然と体を動かす活動や植物性食品中心の食事を実践し、心身の健康を維持している。この「生きがい」が、彼らの長寿と高い生活の質に寄与している。

ブルーゾーンの人たちの「9つのルール」

- ① 適度な運動を続ける
- ② 腹八分目で摂取カロリーを抑える
- ③ 植物性食品を食べる
- ④ 適度にワインを飲む
- ⑤ はっきりとした目的意識を持つ
- ⑥ 人生をスローダウンする
- ⑦ 信仰心を持つ
- ⑧ 家族を最優先にする
- ⑨ 人とつながる



(1) コンセプトの仮説設定

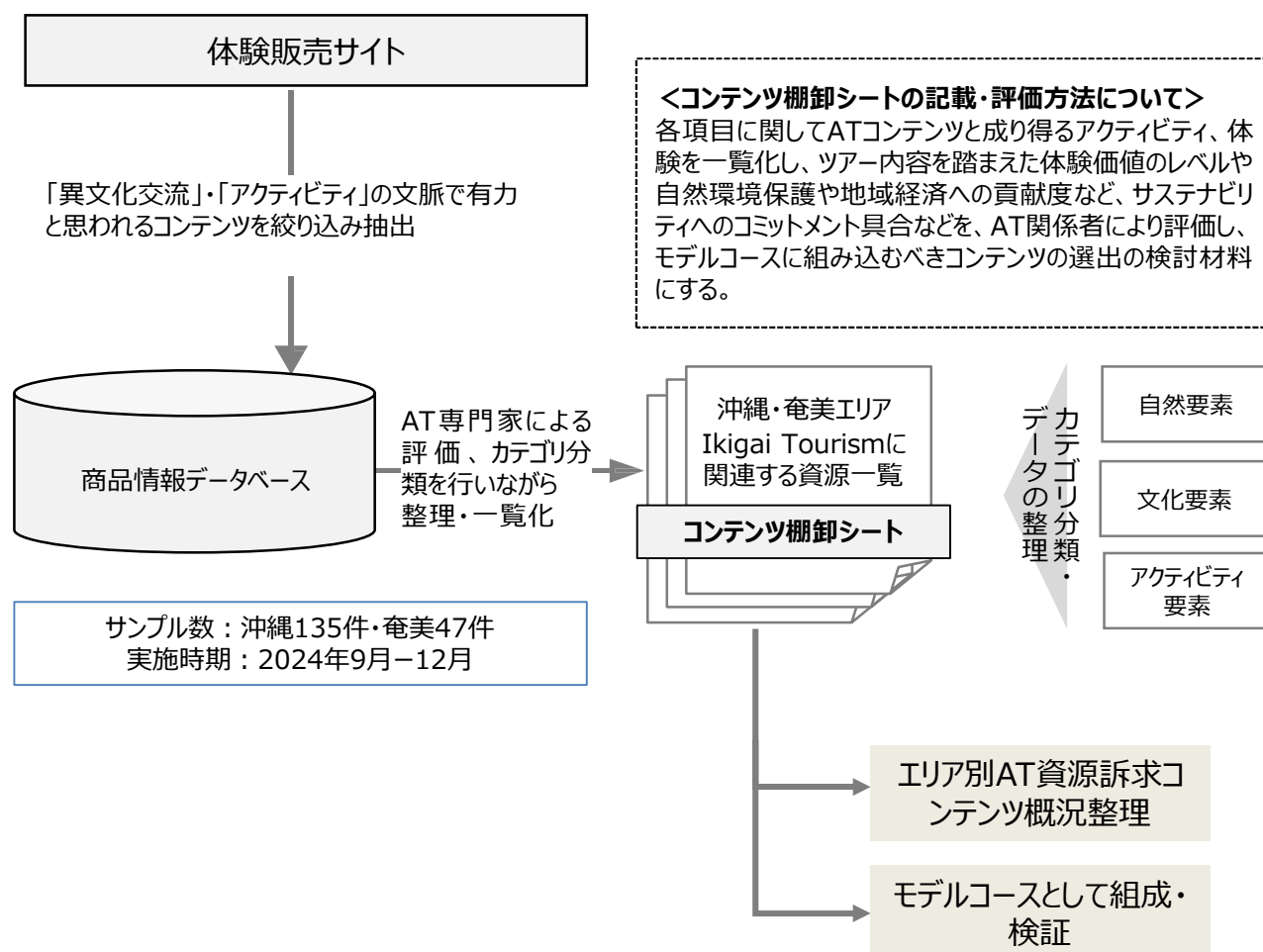


(2) コンテンツ調査

ツアーコンセプトの仮説設定に基づき、観光地、体験プログラム、食事、宿泊施設など、提供可能な観光コンテンツをリストアップし、それぞれを評価した。

地域資源調査の全体イメージ

選定した地域資源について、事務局の現地視察や地元関係者との意見交換を通して、現状の受け入れ状況の精査を行い、Ikigai Tourism資源の一覧化と課題の洗い出しを実施しモデルコース（プラン）を作成する。



 評価指標

抽出したコンテンツを専門家により評価を行った。評価指標は下記に設定した。

		◎	○	△
自然		同エリアの特化資源として、他地域の自然と比較し競争優位性を確保できると思われる。ここならではの体験として位置づけられる。	他地域と比較して平均程度の資源性。	特化・独自といえる資源にはならず、他地域と比較し平均未満の資源性。
文化体験	コンテンツ	地域の文化や伝統を深く理解できる内容が盛り込まれており、体験を通じて学びが得られる	地域の文化や伝統を一部体験できるが、内容がやや表面的で深みが欠ける	地域の文化や伝統が反映されておらず、一般的な観光コンテンツの域を出ていない
	食事	郷土料理や伝統料理が本格的に再現され、地域の文化や歴史を体験できる。また、ハイレベルな欧米対応要素に対応できる	欧米顧客向けのメニュー対応が部分的にあるが、選択肢が限られている。また、中程度レベルの文化歴史体験要素も含まれている	地元食材や郷土料理がほとんど使用されていない
アクティビティ		地域特有の自然、文化、歴史を最大限に活用し、他地域では味わえない唯一無二の体験ができる	地域の自然や文化を活用しているが、内容や独自性がやや不足している	地域の特徴がほとんど反映されておらず、一般的な内容で記憶に残りにくい

	1:オンリーワン	2:ナンバーワン	3:特徴あり	4:高品質	5:平均以上
ユニーク&新しい体験	そこでしか体験できないコンテンツである	同様のコンテンツは他所にもあるが、クオリティが最高級である	コンテンツの中で、地域独特な動植物、場所、建物、時期等特徴がある	ツアー・コンテンツの衛生面や品質及び異文化交流における本物感がツアー・コンテンツの中で感じられる	一般的なツアー・コンテンツではあるが、一部、党植物との関わりや、文化歴史交流の要素が協調されている

	1:高	2:中	3:低
地域への経済貢献	全国のコンテンツと比較して地域資源の活用度は高いと思われる、また地域への回遊を促すプログラムである(域内調達率が全国のコンテンツと比較し高いと思われる)	全国のコンテンツと比較して地域資源の活用度は同程度と思われる、自社のみで完結する(域内調達率は全国平均と同程度と思われる)	全国のコンテンツと比較して地域資源の活用度は低いと思われる、自社コンテンツのみで完結する(域内調達率は全国平均未満と思われる)
自然・文化保護の観点	自然や文化を保護するための具体的な取り組みが明確であり、地域の自然資源や文化遺産に対する配慮が顕著である。持続可能な運営方法が導入され、地域住民や専門家との協力が行われている	自然や文化の保護に一定の配慮が見られるが、具体的な取り組みが十分でない。環境や文化遺産への影響が限定的であるが、明確な保護の仕組みや運用が不足している	自然や文化保護への配慮が少なく、地域資源や文化遺産に負荷をかける恐れがある。保護に関する取り組みが行われていない、または効果が限定的
チャレンジ要素	新しい市場やテーマに積極的に挑戦し、リスクを取りながらも地域資源の可能性を最大限引き出す取り組み	新しい挑戦が見られるが、リスクを最小限に抑え、従来の手法やコンテンツを補完する程度の取り組み	新しい挑戦がほとんど見られず、従来の手法や内容に依存している状態
本物らしさ (コンテンツの正当性)	地域の文化や歴史、自然環境に深く根ざしており、正確かつ信頼性のある情報に基づいたコンテンツ	地域の文化や歴史にある程度根ざしているが、独自性や正確性がやや不足している	地域の文化や歴史、自然環境に基づいた内容が乏しく、他地域のコンテンツとの差別化が不十分
欧米AT顧客へのアピール性	欧米のAT(アドベンチャートラベル)顧客の嗜好や価値観を的確に捉え、特に魅力的な体験を提供している	欧米AT顧客に一定のアピールがあるが、細部の調整や顧客ニーズへの対応がやや不足している	欧米AT顧客に対するアピールが乏しく、特定市場をターゲットにした工夫が見られない

エリア区分

傾向分析に際し、下記のエリア区分で実施した。

— 沖縄 —	北部エリア	国頭村 金武町	大宜味村 伊江村	東村	名護市	今帰仁村	本部町	恩納村	宜野座村
	中部エリア	宜野湾市 中城村	沖縄市	うるま市	読谷村	嘉手納町	北谷町	北中城村	
	南部エリア	那覇市 南風原町	浦添市 八重瀬町	与那原町	糸満市	豊見城市	南城市	西原町	
	離島								
— 奄美 —	奄美大島								
	離島								

調査サマリ

本調査のサマリは下記のとおり。

構成別資源性			構成別資源性					
自然	文化体験	アクティビティ	ユニーク性 目新しさ	地域貢献性	サステナビリティ	チャレンジ性	AT顧客への訴求度	難易度
沖縄北部	沖縄北部	沖縄北部	沖縄北部	沖縄北部	沖縄北部	沖縄北部	沖縄北部	沖縄北部
沖縄中部	沖縄中部	沖縄中部	沖縄中部	沖縄中部	沖縄中部	沖縄中部	沖縄中部	沖縄中部
沖縄南部	沖縄南部	沖縄南部	沖縄南部	沖縄南部	沖縄南部	沖縄南部	沖縄南部	沖縄南部
沖縄離島	沖縄離島	沖縄離島	沖縄離島	沖縄離島	沖縄離島	沖縄離島	沖縄離島	沖縄離島
奄美大島	奄美大島	奄美大島	奄美大島	奄美大島	奄美大島	奄美大島	奄美大島	奄美大島
奄美離島	奄美離島	奄美離島	奄美離島	奄美離島	奄美離島	奄美離島	奄美離島	奄美離島

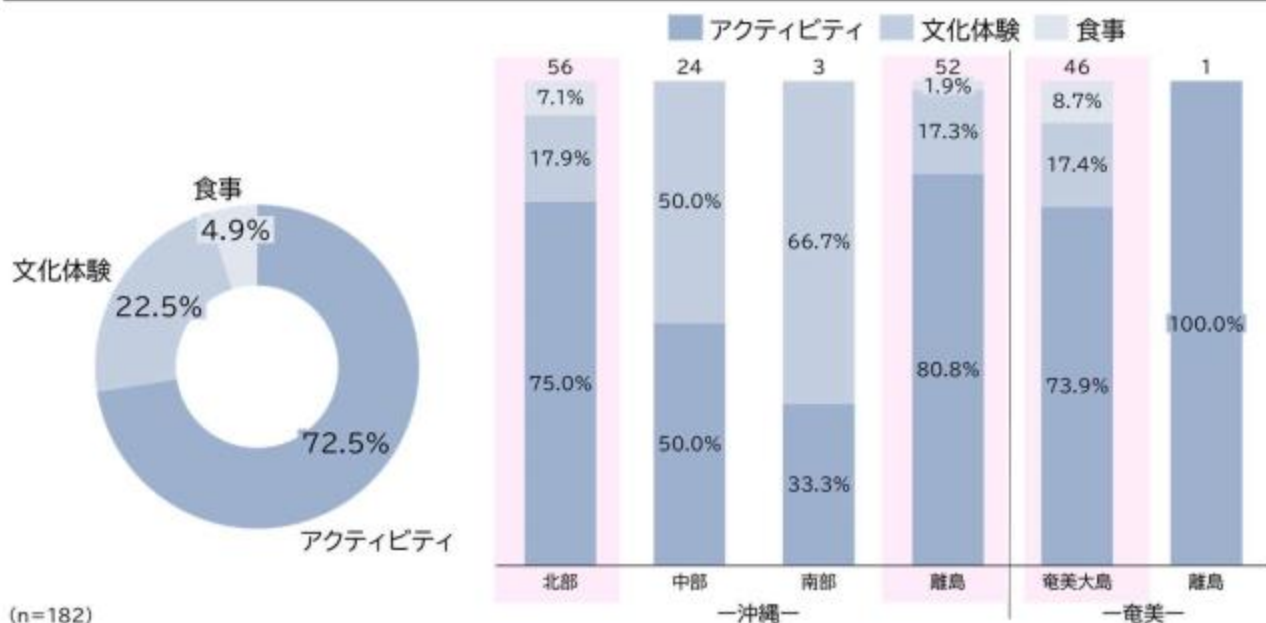
モデルプランの方向性

各評価項目において高評価を得ている沖縄北部を中心としたコンテンツ造成及び沖縄北部と奄美大島を組成したプログラムの展開により特化性・競争優位性を確立できると示唆される。

調査結果①

- 抽出した資源のうち、最も多いのは「アクティビティ」で全体の72.5%を占める。
- エリア別では、沖縄北部、沖縄離島、奄美大島の約70%以上を「アクティビティ」が占める。

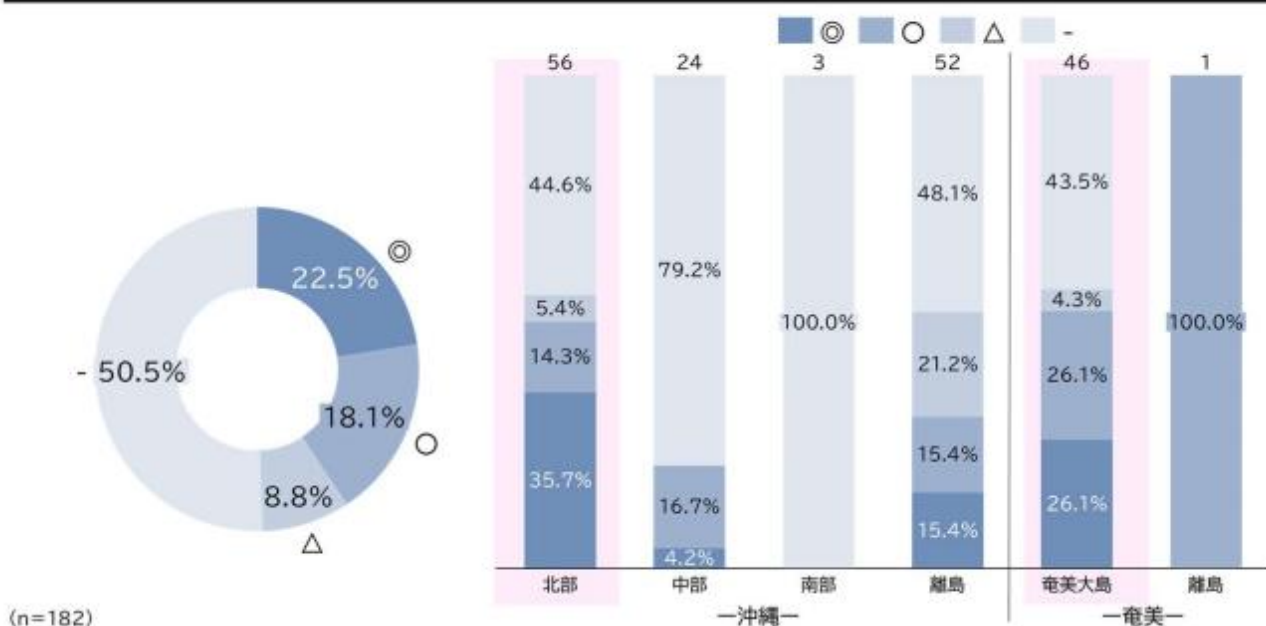
コンテンツ分類×エリア別(単位:%)



調査結果②

- アクティビティ種別は多いものの、全体では特化といえる自然資源は多くないが、「◎」、「○」で約41%を占める。
- エリア別では、沖縄北部、奄美大島において「◎」、「○」の構成比が高く、独自・特化性を有すると示唆される。

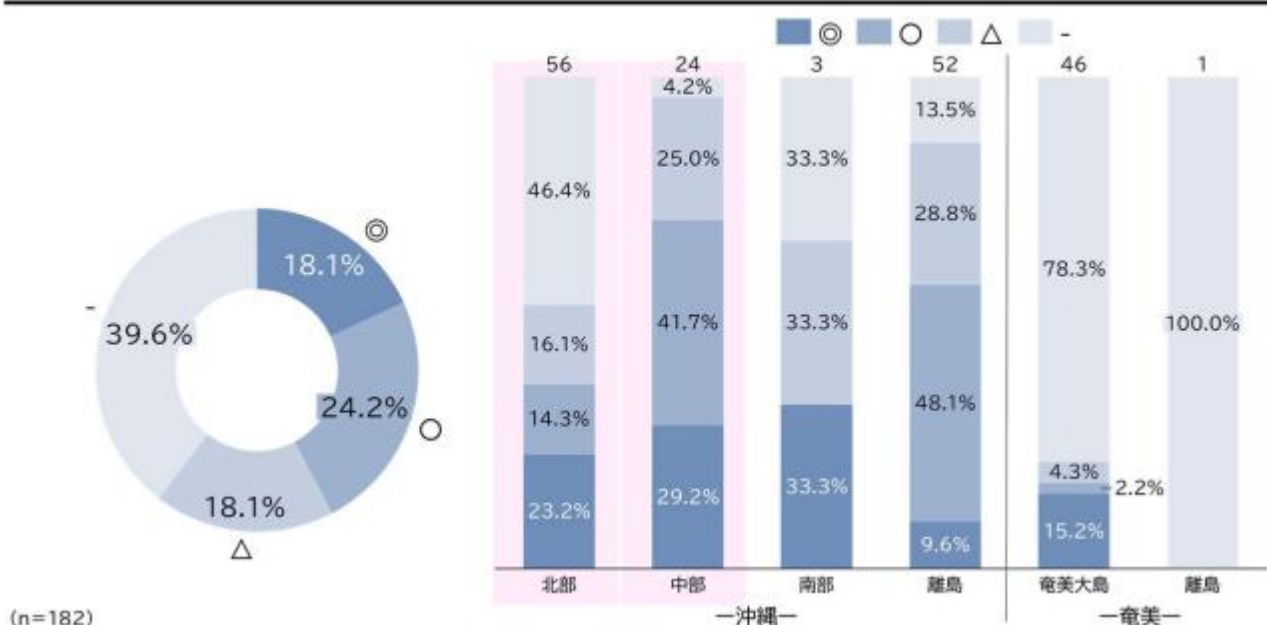
構成要素(自然)×エリア別(単位:%)



調査結果③

- 全体では「◎」および「○」が全体の約42%程度を占め、異文化に特化・独自性を有していることが示唆される。
- エリア別では対象コンテンツ数の少ない沖縄南部を除き沖縄中部・北部は「◎」の占める割合が高く、全体の約20%以上を占める。

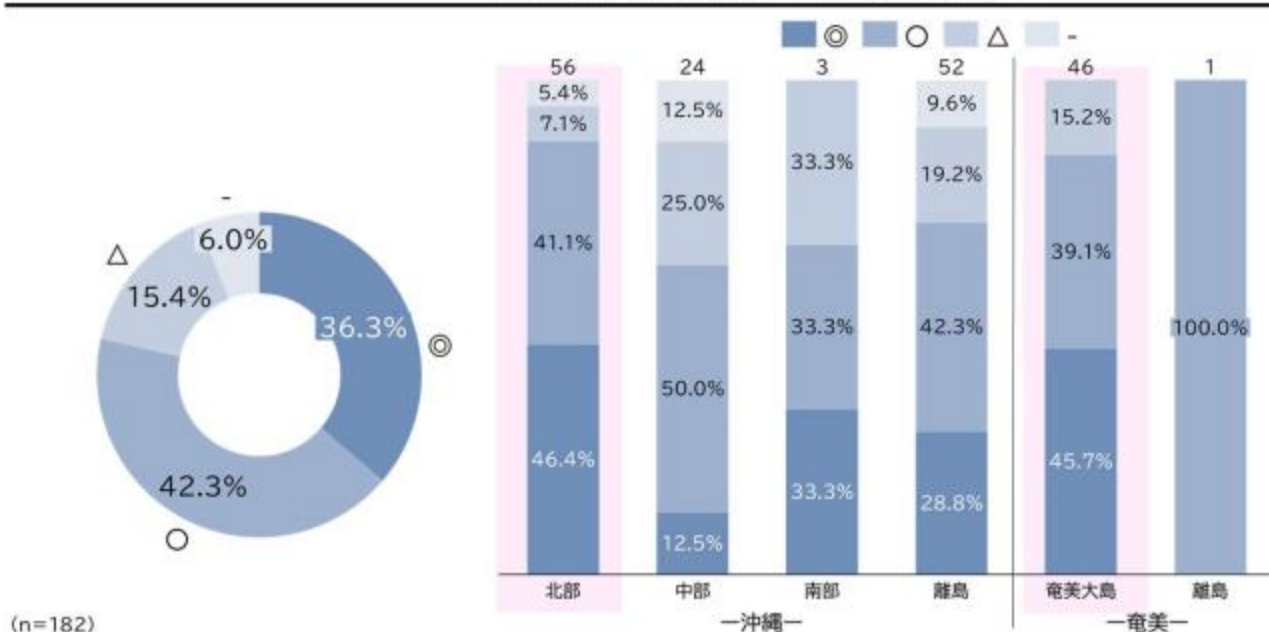
構成要素(異文化)×エリア別(単位:%)



調査結果④

- 全体では「◎」および「○」が全体の約79%程度を占め、特化・独自性を有していることが示唆される。
- エリア別では沖縄北部・奄美大島は「◎」、「○」の総数が全体構成比で最も多く、全体の約80%以上を占める。

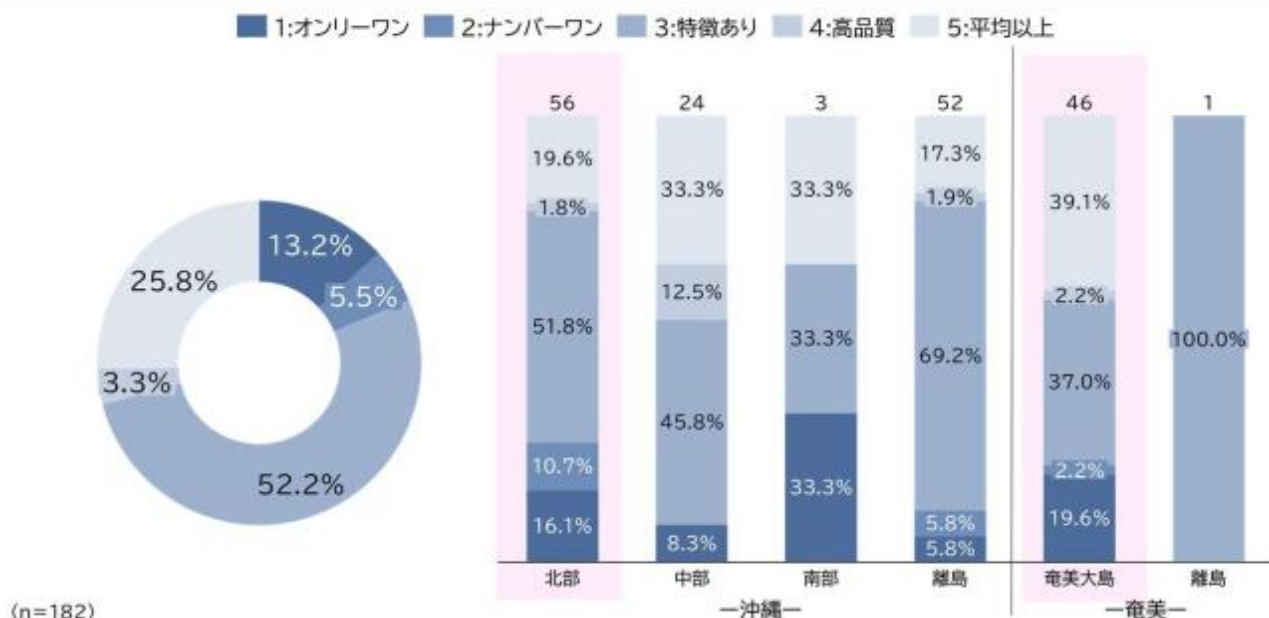
構成要素(アクティビティ)×エリア別(単位:%)



調査結果⑤

- 全体では「特徴あり」が最も多く、全体の約52%を占める。
- エリア別では対象コンテンツ数の少ない沖縄南部を除き、沖縄北部、奄美大島において「オンリーワン」、「ナンバーワン」の構成比が高い。

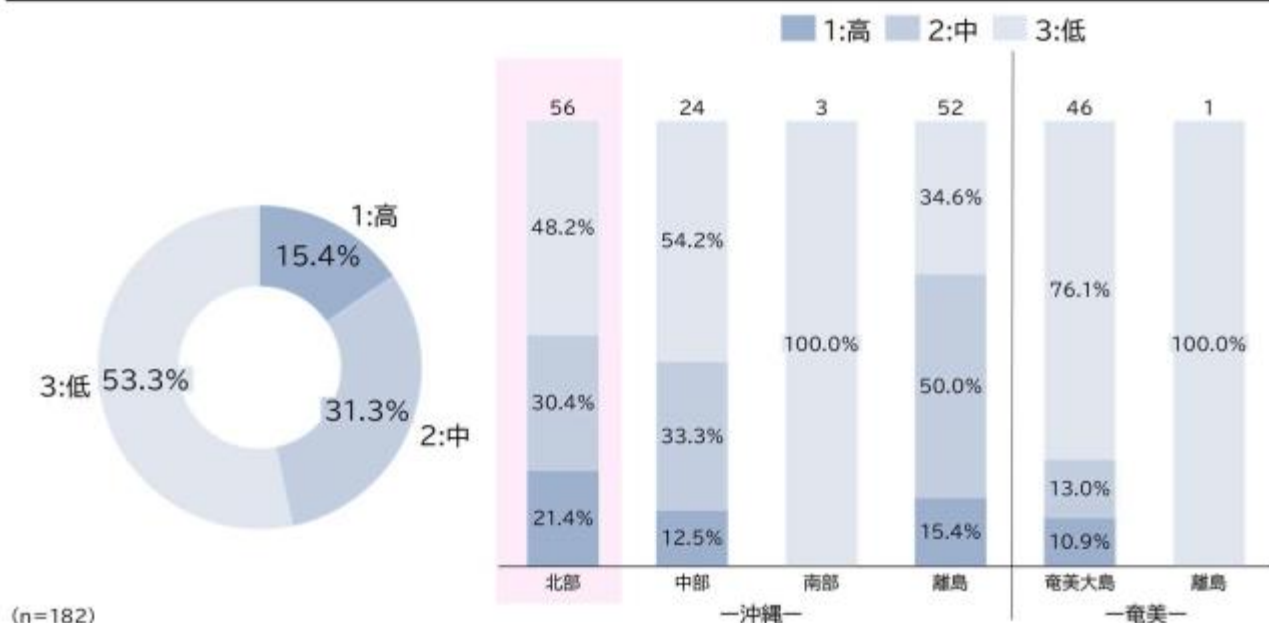
評価別(ユニーク&新しい体験)×エリア別(単位:%)



調査結果⑥

- 全体では「低」が最も多く、全体の約53%を占める。
- エリア別では対象コンテンツ数の少ない沖縄南部を除き、「低」・「中」でおよそ8割の構成比となっている。

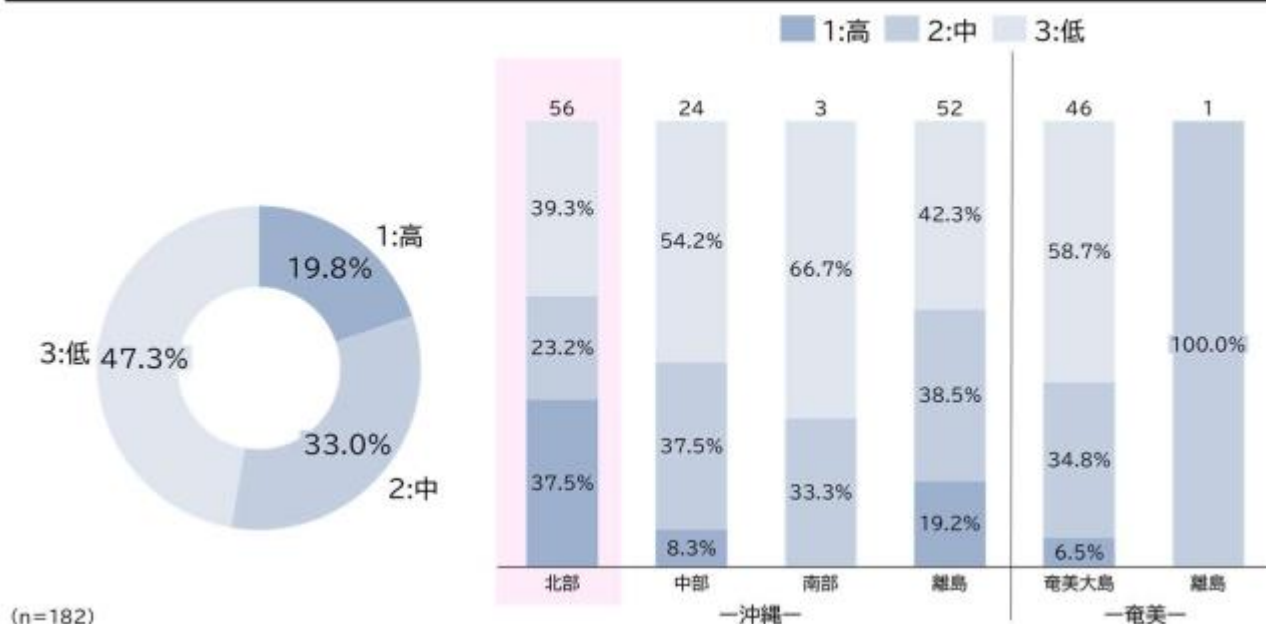
評価別(地域への経済貢献)×エリア別(単位:%)



調査結果⑦

- 全体では「低」が最も多く、全体の約47%を占める。
- エリア別では対象コンテンツ数の少ない沖縄南部を除き、沖縄北部において「高」の構成比が高い。

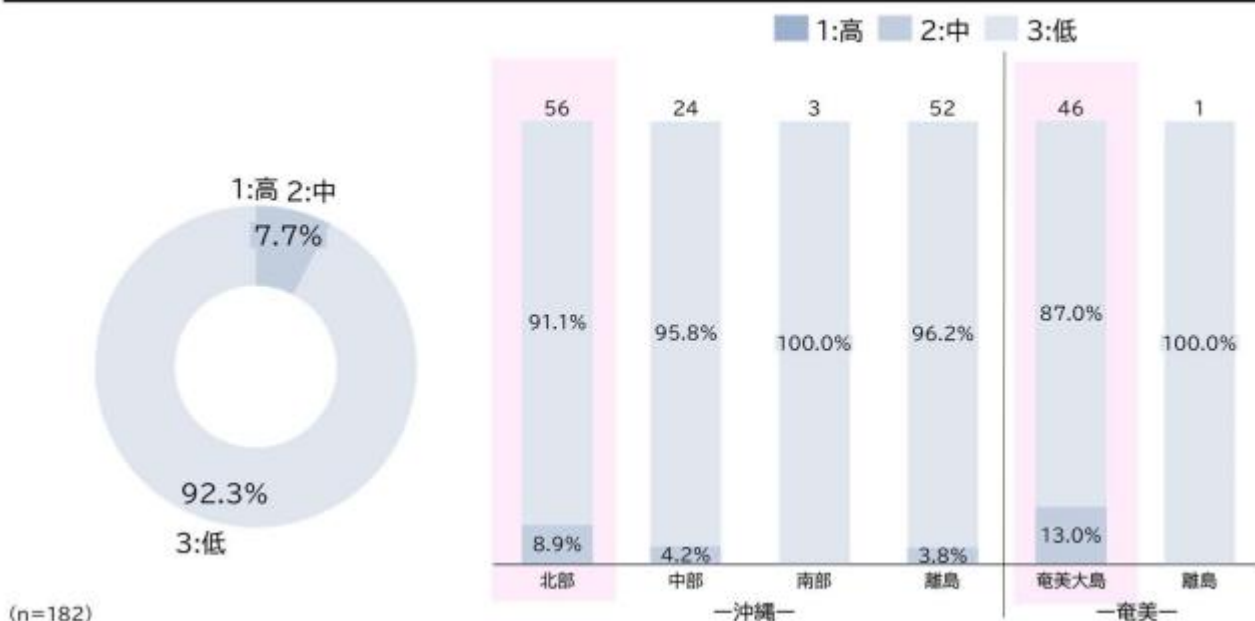
評価別(自然・文化保護の観点)×エリア別(単位:%)



調査結果⑧

- 全体では「低」が最も多く、全体の約92%を占めることから、ターゲットにとって参加への障壁が低いことが示唆される。
- エリア別では対象コンテンツ数の少ない沖縄南部を除き、奄美大島、沖縄北部において「中」の構成比が高い。

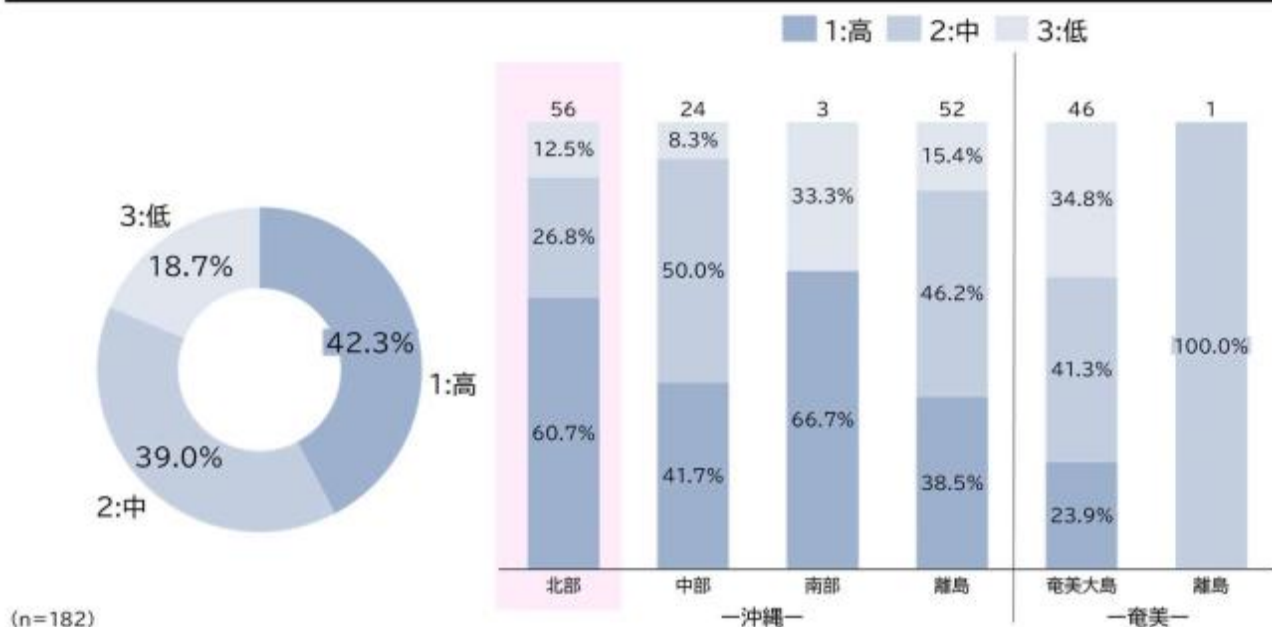
評価別(チャレンジ要素)×エリア別(単位:%)



調査結果⑨

- 全体では「高」が最も多く、全体の約42.3%を占めることから、ターゲットにとってへの訴求度は高いことが示唆される。
- 特に沖縄北部では全体の約61%が「高」を占める。

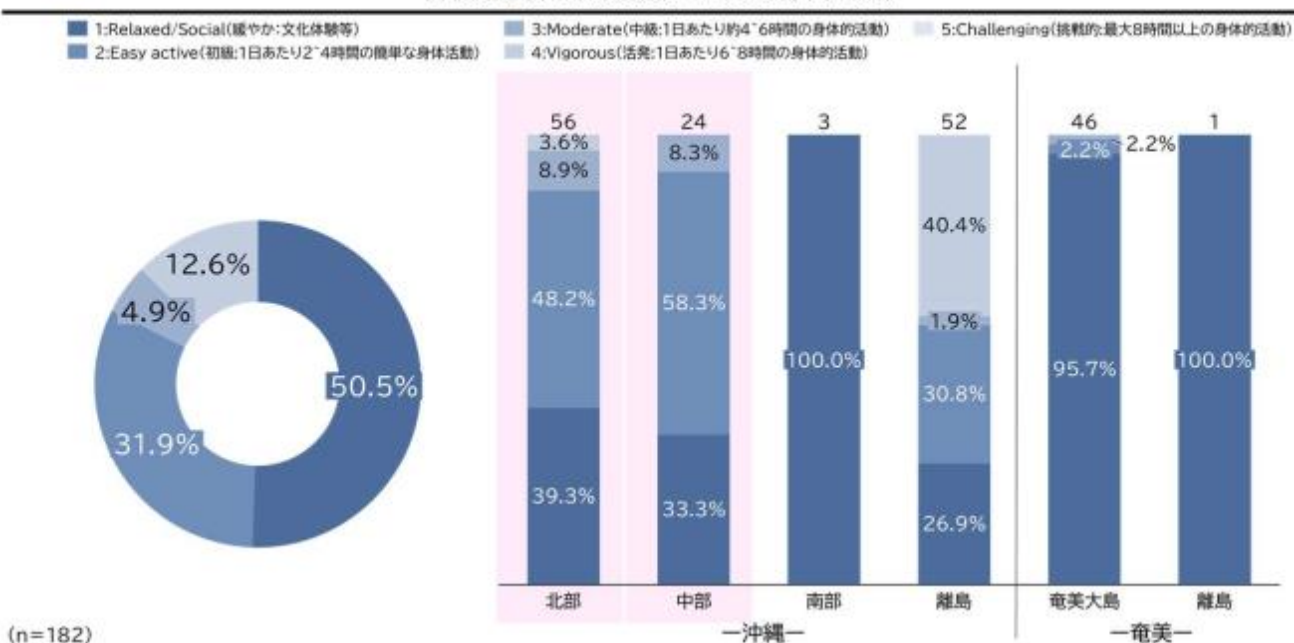
評価別(欧米AT顧客へのアピール性)×エリア別(単位:%)



調査結果⑩

- 全体では「1:Relaxed/Social(緩やか:文化体験等)」が最も多く、全体の約51%を占める。
- エリア別では、沖縄北部・中部においては「2:Easy active(初級:1日あたり2~4時間の簡単な身体活動)」の構成比が高い。

評価別(身体的な強度)×エリア別(単位:%)



(2) コンテンツ調査

<調査コンテンツの調査項目>

- コンテンツの種類 ●コンテンツ名 ●概要 ●エリア ●エリア区分 ●カテゴリ（自然／異文化／アクティビティ）
 ●ユニーク＆新しい体験のレベル ●身体的な強度 ●コンテンツ提供事業者 ●体験可能時期 ●ベストシーズン
 ●所要時間 ●費用 ●URL

<調査コンテンツ一覧／沖縄> ※誌面の都合上一部省略

	コンテンツの種類	コンテンツ名	概要	エリア	エリア区分	自然	異文化	アクティビティ
1	食事	郷土料理体験	地元のお母さんと一緒に、新鮮な旬の島野菜を使ったうな一家庭の行事料	やんばる	本島	-	◎	◎
2	文化体験	古集落案内	やんばるの古集落をやんばるホテル南冥森家のシエルバ（ガイド）が案内	やんばる	本島	-	◎	◎
3	アクティビティ	ネイチャーガイドデイズ	落差25.7mを誇る滝までの徒歩40分の遊歩道を、ガイドと共にのんびり歩き	やんばる	本島	◎	△	◎
4	文化体験	山原工芸店 ものづくり体験	クリエイティブ・ハブとして廃校活用をしている喜如嘉翔学校の案内を受け	やんばる	本島	○	○	◎
5	アクティビティ	沖縄中部地域 サイクリング	沖縄中部地域でも人気のサイクリングスポットである海中道路を爽快に走りなが	中部	本島	○	△	◎
6	アクティビティ	慶良間の絶景をめぐる。e-	絶景ポイントが続く起伏の激しい渡嘉敷島を、現地サイクリングガイドと	慶良間諸島	離島	◎	○	○
7	食事	ゆんたくしながら楽しむ月	沖縄で暮らす中のいろいろな場面で利用されてきた月桃を用いた、月桃茶	渡嘉敷島	離島	△	◎	○
8	文化体験	慶良間 集落案内	地元おいしいガイドのまちまーい（街歩き）ツアー。集落の昔の様子や、かつ	慶良間諸島	離島	△	○	◎
9	アクティビティ	ナイトビーチ生き物探検ツ	マリナクティビティでにぎわう昼間とは違う姿を見せる、夜のとかし	渡嘉敷島	離島	◎	△	○
10	アクティビティ	地元ガイドと行く仲良川サ	白浜集落に残る伝統祭事である海神祭で使用するサバノ船に乗って、集落奥	八重山（石	離島	◎	◎	◎
11	文化体験	旧海軍司令部壕で戦争と平	旧海軍司令部壕の慰霊之塔へ写真展へ資料館へ壕内を、専属ガイド1名が説	南部	本島	-	◎	◎
12	文化体験	よみたん むらぐむい	読谷村の座間味コース・都屋コース・喜名コースをガイドと共に歴史・文	中部	本島	-	△	○
13	アクティビティ	陶芸体験	読谷村座間味で工房を構える「陶真実」で沖縄のやちむんの陶芸体験ができ	中部	本島	-	○	○
14	アクティビティ	平和学習ガイドin道の駅かて	嘉手納基地に隣接し基地が見渡せる道の駅かでてで、展望所で飛行場の見	中部	本島	-	○	△
15	アクティビティ	マングローブカヤック・	比謝川でカヤックを操縦しながら、干潟の沼地で観察できる生き物の観察や	中部	本島	◎	△	○
16	文化体験	着地型観光プログラム	美浜の街を海外に見立てて、ハイリカル講師と美浜の街を散策する美浜ア	中部	本島	-	△	△
17	文化体験	宜野湾はごもも祭り 「飛	「飛衣羽衣カチャーシー大会」では、昔から沖縄の演奏会や宴席のフィナー	中部	本島	-	◎	◎
18	文化体験	沖縄市コザまちない	ツアーコースでは、胡屋地区を中心に歩き戦後に発生した「チャンブルー文	中部	本島	-	○	○
19	文化体験	沖縄本島各地から選抜された青年会や団体が集まる沖縄本島エイサー祭り	沖縄本島各地から選抜された青年会や団体が集まる沖縄本島エイサー祭り	中部	本島	-	◎	○
20	文化体験	エイサー体験、三線演奏体	エイサーのまち沖縄市で太鼓、締太鼓を演奏する本格的な体験と、エイ	中部	本島	-	◎	○
21	アクティビティ	マリンスポーツ	西原町の東海岸の海をバナナボートや水上バイク、スーパーマーブル、パン	中部	本島	○	-	△
22	文化体験	闘牛大会	闘牛が最も盛んな街として知られるうるま市では、春・夏・秋に沖縄県	中部	本島	-	○	○
23	アクティビティ	ケイブオキナワ	うるま市石川嘉手羽にある鍾乳洞で、紅白岩ではシンボルとなる雨水と共に	中部	本島	○	-	○
24	アクティビティ	【農業体験】ウェルネス	女性長寿で知られる北中城村で農業と福祉、多様性についての講話や農園を	中部	本島	○	△	△
25	文化体験	中村家住宅	国指定重要文化財に指定されている北中城村の中村家住宅では、戦前の沖縄	中部	本島	-	◎	○
26	文化体験	中城城跡を中城村・北中城村文化財案内サークル「グスク会」の皆さんに	中城城跡を中城村・北中城村文化財案内サークル「グスク会」の皆さんに	中部	本島	-	○	△
27	文化体験	組踊	浦添市にある国立劇場おきなで沖縄の伝統芸能である組踊の公演を鑑賞す	中部	本島	-	○	△
28	文化体験	あしむりの郷	琉球神話の開闢（かいびやく）の地とされる辺戸周辺の遺跡や文化、歴史、	やんばる	本島	-	◎	○
29	文化体験	ひがしの民泊（民泊体験）	民泊先の地元も方々と共に農業体験やうななぐち講座などの文化体験、沖	やんばる	本島	-	◎	○
30	文化体験	長寿の里（体験型交流プロ	大宜味村についての歴史を学べる。地域のおじいおばあ交流しながら長寿	やんばる	本島	-	◎	◎
31	アクティビティ	リゾービバーク	瀬底ビーチをガイドと共にバギーで冒険できる。ジャングルと海を同時に楽	北部	本島	-	-	△
32	文化体験	三線・民謡プログラム（大	「工工四」の読み方を学び三線の演奏練習ができるプログラム。沖縄県出身	北部	本島	-	○	○
33	アクティビティ	今帰仁の穴場を巡るガイド	レンタカーでは気づけない穴場スポットをサイクリングガイドとともに回る	北部	本島	-	△	○
34	食事	集落散策体験	地域のお母さん方とユンタク（おしゃべり）しながらゴーヤチャンブルーや	北部	本島	-	◎	○
35	アクティビティ	探鳥地・金武町でバード	40年以上沖縄の野鳥を研究してきた専門家ガイドと一緒にバードウォッチン	北部	本島	○	△	○
36	アクティビティ	きのき散策（漢那）	宜野座村の自然豊かな集落をノルディックウォークで散策。ガイドによる説	北部	本島	-	-	△
37	アクティビティ	『やんばるの森の奏でる音	鳥の鳴き声や風の音を感じながらのんびりゆっくり自然を満喫できる。沖縄	やんばる	本島	◎	△	◎
38	食事	寿司作り体験教室	牧志公設市場の鮮魚店等を見学巡りをしたあと、講師の先生から寿司の握り	南部	本島	-	◎	○
39	アクティビティ	ハーリー乗船体験	ハーリーの発祥地である豊見城市で乗船体験。漕ぐコツをレクチャーして	南部	本島	○	◎	○
40	アクティビティ	サトウキビ収穫体験	地元の農家さんと一緒に、サトウキビの収穫から黒糖作り、また地元の新鮮	宮古島下地	離島	-	○	◎
41	アクティビティ	宮古島ひとときさんぽ	宮古島を知り尽くした案内人と一緒に散歩しながら、島人の話と島時間を楽	宮古島平良	離島	-	○	○
42	アクティビティ	集落散策体験	赤瓦屋根、白砂、フクギ並木など沖縄の離島らしき満載の景観の中をガイド	渡名喜島	離島	-	○	○
43	アクティビティ	島民とトクトウクドドライ	現地ガイドと一緒に多良間島のヤギや牛を観察したり、歴史的なスポット巡	多良間島	離島	-	-	△
44	アクティビティ	海好き・島好き・ゆんたく好きなスタッフがサボートしながらシーサー色付	海好き・島好き・ゆんたく好きなスタッフがサボートしながらシーサー色付	石垣島	離島	-	○	○
45	アクティビティ	1日ゆんたく島内散策ツ	八重山でも有名な「バナリブルービーチ」のあるバナリ島で島のガイドと一	石垣島・西	離島	○	○	◎
46	アクティビティ	島巡遊ツアー	島に暮らし、島の自然の魅力と危険性を熟知したオーナーが安全第一に自ら	西表島	離島	△	○	○
47	アクティビティ	島民としゃべり体験	島のひと話したい！遊びたい！一緒ににお買物したり、ご飯を作ったりおじ	久米島	離島	-	◎	◎
48	文化体験	久米島平和学習	久米島での第2次世界大戦（沖縄戦）サイドストーリーを追う体験学習プロ	久米島	離島	-	○	○
49	アクティビティ	貝殻でシーサー作り	島の砂浜に落ちている一つ一つ形の違う貝殻でオリジナルシーサー作り体	栗国村	離島	-	-	△
50	文化体験	琉球かすりの産地「かすりの里」で知られている南風原町で世界に一つだけ	琉球かすりの産地「かすりの里」で知られている南風原町で世界に一つだけ	南風原町	本島	-	-	△
51	アクティビティ	ナイトカヤック＆星空カ	星空広かあるあさの海で幻想的なナイトカヤックと星空マイスターさんの力	南城市	本島	-	△	○
52	アクティビティ	島島探検体験	「糸満海のふるさと公園」の古民家でいう島島探検作り。体験では、石臼で大	糸満市	本島	-	◎	○
53	アクティビティ	黒島ブルーを守りたい！	牛で有名な黒島をご存じですか？人口は約200人、牛は約3,000頭。派手な観	黒島	離島	-	○	○
54	アクティビティ	阿嘉島の農業発展のお手伝	年間10万人近く観光客が訪れる座間味村。座間味村は慶良間諸島の西半分	阿嘉島	離島	△	△	○
55	アクティビティ	島民と一緒に歴史を刻む富	歴史的価値のある「ウヰキキ」の石積みや修繕作業	多良間島	離島	-	△	△
56	アクティビティ	阿嘉島の農業発展のお手伝	年間10万人近く観光客が訪れる座間味村。座間味村は慶良間諸島の西半分	阿嘉島	離島	△	△	○
57	アクティビティ	世界自然遺産・西表島のイ	「竹富町やまねこマラソン大会」は毎年開催され、2025年で第30回を迎えま	西表島	離島	-	△	△
58	アクティビティ	琉球国王が生まれた島「伊	昨年度に引き続き2回目の挑戦です。エントリーした選手団が安心して競技	伊是名島	離島	-	△	△
59	文化体験	「天然サンゴ」地域事業者	島にはいくつかのマンゴー農園がありますが、高齢化が進みマンゴー農園は	伊平屋島	離島	-	△	△
60	文化体験	西表島最古の集落「相納地	高齢化が進む集落で人手が足りずに美化活動が追いついていない状況。	西表島	離島	-	△	△
61	文化体験	「牛1頭が当たる！」で有名	そんな静かな黒島ですが、年に一度、毎年2月に開催される「黒島牛まつり」	黒島	離島	-	-	△
62	アクティビティ	★石垣島発着★シュノーケ	☆ツアーのポイント	石垣島	離島	○	○	◎
63	アクティビティ	★石垣島発着★シュノーケ	島あっちいでは珍しいダイビングのご案内！	座間味島	離島	○	-	○
64	アクティビティ	★石垣島発着★世界自然遺	ツアーの舞台は西表島の西部の奥地、陸路で行ける終着地・最果ての「白浜	西表島	離島	○	○	○
65	アクティビティ	石垣島と竹富島の大自然を	石垣島のケイビング＆トレッキングで大冒険と、竹富島で風をつかむ伝統サ	石垣島	離島	◎	◎	◎
66	アクティビティ	渡嘉敷島ならではの食を感	渡嘉敷島は、那覇から高速船で40分。国立公園にも指定された慶良間諸島に	渡嘉敷島	離島	-	○	○
67	アクティビティ	【石垣島現地発着】石垣島	石垣島の大自然を学んで遊ぶトレッキングツアーと、星降る島「竹富島」で	石垣島	離島	◎	○	◎
68	アクティビティ	久米島高校離島留学生と行	「離島留学2年目の私たちが、いろんな視点から見た魅力いっぱい久米島を	久米島	離島	△	△	○
69	アクティビティ	日本古来の絶景の中で自分	日本が世界に誇る文化に触れながら自分と向き合う旅	久米島	離島	△	○	○
70	アクティビティ	沖縄の伝統漁法、夜中の潮	島の人々楽しみにしている沖縄独特の文化を体験しよう！島の人たちは、こ	渡嘉敷島	離島	○	◎	◎
71	アクティビティ	風光明媚、歴史豊かな伊是	知る人ぞ知る魅力がいっぱいの伊是名島。アシストサクルにて快適目つい	伊是名島	離島	△	△	○
72	アクティビティ	★石垣島発着★冬こそ楽し	八重山諸島・黒島のチャー！自然！人！すべてがギョッと詰まった3日間をお届け	黒島	離島	○	○	◎
73	アクティビティ	南大東島で大自然の神秘を	大迫力のアドベンチャーへご招待！南大東探検地底湖湖噴きツアー	南大東島	離島	○	△	◎
74	アクティビティ	プロカメラマンによる	那覇からわずか40分の渡嘉敷島で、満点の星空とケラマブルーの海に浮かぶ	渡嘉敷島	離島	-	-	△
75	アクティビティ	1グループ貸切で離島暮ら	知る人ぞ知る魅力がいっぱいの伊是名島。	伊是名島	離島	-	○	○
76	アクティビティ	【石垣島現地発着】集ま	非日常の暗闇洞窟でキャンプ！サンゴ礁の歴史と文化を体感する「八重山」	石垣島	離島	◎	○	◎
77	アクティビティ	伊江島でローカル／パカン	11月12月の伊江島は、海も楽しめて、空も澄んで、見上げると満点の星空	伊江島	離島	△	○	○
78	アクティビティ	太平洋に沈む夕日で感動を	水平線に沈みゆく夕日を見るために、訪れる価値のある島、それが南大	南大東島	離島	-	△	○
79	アクティビティ	★宮古空港発着★地下から	沖縄県からさらに南西に300 kmの小さな島「宮古島」	宮古島	離島	-	△	△
80	アクティビティ	新築一軒家を貸切。ファミ	家族やグループで島の一軒家を貸切、島んちゅと交流を楽しみながら、	渡嘉敷島	離島	-	○	○

(2) コンテンツ調査

81	アクティビティ	★那覇空港発着★世界自然	～秘境中の秘境。船でしか行けない小さな集落「船浮集落」～	西表島	離島	◎	○	◎
82	アクティビティ	島人ガイドと巡る、マルッ	太平洋に浮かぶ絶海の孤島、南大東島。	南大東島	離島	-	△	◎
83	文化体験	やんばる酒造工場見学	ゆっくり、じっくり、やんばるタイムで熟成し旨味を最大限に引き出した沖	大宜味村	本島	-	○	△
84	文化体験	やんばるの子どもの三	地域の伝統行事「豊年祭(五穀豊穡を願う神事)」の人気の演目である、地域	大宜味村	本島	-	○	-
85	文化体験	阿嘉島	阿嘉島でのハイライトは、アダン葉を使った伝統工芸を継承している方が	阿嘉島	離島	-	○	-
86	アクティビティ	農場見学（野菜収穫・ハー	やんばるで感じたBlue Zoneに続いてウェルネスについてを学び、体感す	北中城村	本島	-	△	-
87	文化体験	塩づくり体験	沖縄の自然と健康の関係を深掘りする。天然塩作り体験を通して沖縄の海の	浜比嘉島	離島	-	○	-
88	アクティビティ	コザ街歩き	アメリカ統治下時代の面影があるコザのちゃんぶる～文化を街歩きを通して	沖縄市	本島	-	○	○
89	文化体験	エイサー体験	エイサーの町、沖縄市で、エイサーを通じて地元の青年会と触れ合う機会を	沖縄市	本島	-	○	-
90	アクティビティ	空手ピクス	空手発祥の地、沖縄で、初心者向けに、朝のエクササイズとして、エアロ	北中城村	本島	-	○	○
91	アクティビティ	バーホッピング	60年代の復帰前の沖縄の雰囲気が残る街で、多くのアメリカ兵がいる中に、	沖縄市	本島	-	◎	-
92	アクティビティ	西表野生生物保護センター	生物の多様性が生まれた背景や、絶滅危惧種であるイリオモテヤマメコ保全	西表島	離島	△	-	-
93	アクティビティ	島唄ナイトクルーズ	夕食が終わってから気軽に参加して頂ける2時間（送迎の時間も含む）ほどの	西表島	離島	○	○	-
94	アクティビティ	内川トレッキング+1バック	海に繋がる川と森との関係をより深く体感できる世界遺産登録地の西表島の	西表島	離島	○	-	○
95	文化体験	農園にて夕食の野菜収穫	近海で獲れる魚やアサリ、もずく、カーナ等の海藻、また直営農園で色々な	西表島	離島	△	○	○
96	文化体験	公民館BBQ+上映会	地域のみなさんと公民館にてBBQ(琉球猪や地魚を使ったメニュー)・そして、大	西表島	離島	-	△	-
97	アクティビティ	やんばるていんがーら（天	夜は真っ暗！漆黒の森で星空を望む。国頭村森林公園は暗さと静けさが魅力	国頭村	本島	△	-	-
98	アクティビティ	「夜のやんばるに冒険に出	世界的に珍しい希少な動植物が暮らすやんばるの森。豊かな自然が魅せる多	国頭村	本島	◎	-	○
99	アクティビティ	「やんばるの森の奏でる音	世界的に珍しい希少な動植物が暮らすやんばるの森。豊かな自然が魅せる多	国頭村	本島	◎	-	○
100	アクティビティ	「星空をバックに記念写	夜は真っ暗！漆黒の森で星空を望む。国頭村森林公園は暗さと静けさが魅力	国頭村	本島	△	-	-
101	アクティビティ	「やんばるの森の生き物を	日本国土面積の0.1%に満たないこの世界自然遺産やんばるの森は、多くの希	国頭村	本島	◎	-	◎
102	アクティビティ	～5感で森を感じる～	森林セラピーとは、医学的エビデンスを基礎とした森林の快適性増進効果・	国頭村	本島	◎	-	◎
103	アクティビティ	爽快感抜群、天然ウォータースライダー		名護市～	本島	◎	-	◎
104	アクティビティ	「沖縄・やんばる」やんば	大人も少年時代に戻って、夢中で川遊び！亜熱帯の大自然とここにしかない	名護市～	本島	◎	-	◎
105	アクティビティ	「沖縄・やんばる」	ガイド付きではないと見えない巨大ガジュマルの王様に会う事ができる。大	大宜味村	本島	◎	△	◎
106	アクティビティ	「沖縄・やんばる」	ネクマチザ岳は大宜味村で最高峰の山。標高は360mながら、やんばるの三村で	大宜味村	本島	◎	△	◎
107	アクティビティ	「沖縄・やんばる」	小学生未満のお子さん、足腰に自信がない方、そして雨でもやんばるの森を	大宜味村	本島	◎	△	◎
108	アクティビティ	やんばる国立公園北部周遊	沖縄北部を効率よく巡る1日バスツアー！世界遺産のやんばる国立公園大石林	那覇～国頭	本島	○	△	△
109	アクティビティ	ネイチャーガイド×農業体験	国頭村観光協会に集合の後、奥間タープクの農道を歩いて、森とはまた違う	国頭村	本島	◎	○	◎
110	アクティビティ	ネイチャーガイドと一緒に	浜辺は陸と海とが出会う場所。漂流する物は波風に乗って遠い海から来た	国頭村	本島	○	-	○
111	アクティビティ	ネイチャーガイドと歩く森	案内人:上開地広美(ネイチャーガイド)	国頭村	本島	○	-	○
112	アクティビティ	(冬季限定) みかん収穫体	案内人:上開地広美(ネイチャーガイド)	国頭村	本島	-	-	○
113	アクティビティ	ネイチャーガイドと歩く長	世界自然遺産候補の一つやんばる。その最大の魅力はここにしかない固有の	国頭村	本島	◎	-	◎
114	アクティビティ	ネイチャーガイドと歩く比	案内人:上開地広美(ネイチャーガイド)	国頭村	本島	◎	-	◎
115	アクティビティ	森林公園ナイトツアー	案内人:上開地広美(ネイチャーガイド)	国頭村	本島	◎	-	◎
116	アクティビティ	保全体験型ナイトツアー	世界自然遺産のやんばるの森を、自然、地元の歴史や文化に詳しい「専属ガ	東村	本島	◎	-	◎
117	アクティビティ	やんばるの森の秘境ツアー	福地ダムの方ごの秘境の沢にカヌーでアクセス。シャワークライミングを	東村	本島	◎	-	◎
118	アクティビティ	マングローブカヌーツアー	マングロープ(は)川の水と海の水が交じる場所に生えている植物。東村にある	東村	本島	◎	-	◎
119	アクティビティ	ひがしの民泊（民泊体験）	民泊先の地元も方々と共に農業体験やうちなーぐち講座などの文化体験、沖	東村	本島	-	◎	○
120	アクティビティ	沖縄北部！琉球神話の始まりの地！	沖縄の始まりの地、辺戸へようこそ♪	国頭村	本島	-	○	○
121	アクティビティ	子供から大人まで楽しめ	子供から大人まで楽しめるミツバチの学習から養蜂場体験までご案内をいた	国頭村	本島	-	-	○
122	アクティビティ	バイナッブル収穫体験	やんばるバイナッブルの丘安波では、今年も地元バイナッブル 農家さんのご	国頭村	本島	-	-	◎
123	食事	郷土料理体験	地元の母さんと一緒に、新鮮な旬の島野菜を使っただけの家庭の行事料	国頭村	本島	-	◎	◎
124	アクティビティ	ガイド貸し切りツアー や	やんばるの自然が広がる名護市で、アクティビティや様々な体験を通して沖	名護市	本島	◎	◎	◎
125	文化体験	三線・民謡プログラム（大	「工四」の読み方を学び三線の演奏練習ができるプログラム。沖縄県出身	名護市	本島	-	◎	○
126	アクティビティ	シーカヤックツアー☆島を	世界遺産登録のやんばるの大自然を大満喫できるシーカヤックツアー！	大宜見	本島	○	-	○
127	文化体験	琉球紅型染め体験	50種類以上の柄の中からお気に入りの柄を選んで、好きな色で染めること	名護市	本島	-	◎	◎
128	アクティビティ	星空浴to宙さんぽinカヌチャ	星の案内人が楽しくわかりやすく解説。沖縄の天然ブラネタリウムで贅沢ツ	名護市	本島	-	-	○
129	文化体験	ちょっと職人気分でガラス	熟練した職人が親切丁寧に指導いたしますので、初心者でも安心してグラス	名護市	本島	-	○	○
130	アクティビティ	やんばるの森探検ツアー ガ	沖縄本島の北部に広がるやんばるの森、その入り口に於ける国頭村森林公園	国頭村	本島	◎	-	◎
131	アクティビティ	半日船釣りプラン！	ご家族、カップル、お友達同士でも釣り好きなら大歓迎。手ぶらで楽しめる	国頭村	本島	○	-	○
132	アクティビティ	【集落ガイド】沖縄本島最	《集落ガイドツアー》	国頭村	本島	△	○	○
133	アクティビティ	金武町ウォーキング	鳥類の専門家がガイドいたします。	金武町	本島	-	-	○
134	アクティビティ	又吉コーヒー園コーヒー豆	沖縄の土地で育ったコーヒー果実の収穫から生豆の加工、焙煎、抽出まで全	東村	本島	-	△	○
135	アクティビティ	空手体験	空手発祥の地・沖縄で大切に伝承されてきた沖縄空手は「平和の武」と表さ	那覇	本島	-	◎	◎

<調査コンテンツ一覧／奄美> ※誌面の都合上一部省略

#	コンテンツの種類	コンテンツ名	概要	エリア	エリア区分	自然	異文化	アフリカ
1	アクティビティ	湯湾岳eバイクサイクリング	サイクルガイドによる案内で、海拔0mから奄美群島最高峰の湯湾岳（標高	宇検村・大	奄美大島	-	-	◎
2	アクティビティ	マングローブカヤック	国立公園特別保護地区マングローブ内でのカヤックツアー。複雑に入り組ん	奄美市	奄美大島	◎	-	◎
3	アクティビティ	三太郎峠eバイクサイクリン	サイクルガイドによる案内で、昔の人が歩いていた三太郎峠と麓の集落をめ	奄美市	奄美大島	◎	-	◎
4	アクティビティ	湯湾岳ナイトツアー	人工灯のほとんどない夜の湯湾岳を専用車に乗って探索し、ツアーガイドと	宇検村・大	奄美大島	△	-	◎
5	アクティビティ	大島海峡シーカヤック	奄美本島と加計呂麻島の間の大島海峡にて、無人のビーチを目指すシーカ	瀬戸内町	奄美大島	◎	-	◎
6	アクティビティ	奄美大島SUP体験	奄美大島特有の暖かい気候とサンゴ礁に囲まれた青く美しい海を、SUPで気	島内全域で	奄美大島	◎	-	◎
7	アクティビティ	湯湾岳トレッキング	トレイルガイドによる案内で、世界遺産の最重要地であり、奄美群島の最高	宇検村・大	奄美大島	◎	-	◎
8	アクティビティ	金作原ネイチャウォーク	奄美大島を代表する森で、認定ガイドの同行が必要な金作原（きんさくば	奄美市	奄美大島	◎	-	◎
9	アクティビティ	名瀬中央林道eバイクツアー	サイクルガイドによる案内で、奄美大島の背骨とも言われる名瀬中央林道をe	奄美市	奄美大島	◎	-	◎
10	文化体験	奄美大島の伝統漁法（1本釣	1本釣りと呼ばれる奄美大島の伝統漁法を今でも続けている宝勢丸鯉漁業生産	奄美市	奄美大島	◎	◎	◎
11	文化体験	大島紬泥染め体験	1300年の伝統を誇る大島紬の製造工程の1つである、独特の染色技法「泥染	龍郷町	奄美大島	-	◎	◎
12	文化体験	大島紬村での大島紬製造工	専属スタッフによる案内で、1300年の伝統を誇る大島紬の伝統的で細やかな	龍郷町	奄美大島	-	◎	△
13	文化体験	国直集落での民宿体験	目の前に白いビーチが広がる国直海岸にある、家族で営む手作りの民宿に宿	大和村	奄美大島	-	◎	◎
14	文化体験	黒糖焼酎工場見学	専属スタッフによる案内で、奄美群島にだけ製造が認められている奄美黒糖	龍郷町	奄美大島	-	◎	△
15	食事	奄美郷土料理とシマ唄体験	奄美大島最大の繁華街「屋仁川通り」にたたずむ名店で、島の食材をふんだん	奄美市	奄美大島	-	◎	◎
16	食事	奄美産クロマグロの海鮮丼	黒潮がもたらす数々の恵みにより日本有数の生産量を誇る、大島海峡の養殖	瀬戸内町	奄美大島	-	-	◎
17	食事	アクティビティ弁当	奄美大島の旬の食材を豊富に使った、アウトドアアクティビティにも適した	奄美市	奄美大島	-	△	△
18	アクティビティ	奄美大島マングローブカ	世界自然遺産の島でのんびり大自然を満喫！	奄美市	奄美大島	◎	-	◎
19	アクティビティ	奄美大島シュノーケリング	世界遺産に認定された、南国・楽園の奄美大島の綺麗な海でシュノーケリン	龍郷町	奄美大島	◎	-	◎
20	アクティビティ	奄美大島コウトリビーチ	ボートポートによる爽快感満点のボートツアー☆	龍郷町	奄美大島	◎	-	◎
21	アクティビティ	奄美大島 原生林で野生動	世界遺産に認定された神秘的島・奄美大島。	住用町	奄美大島	◎	-	◎
22	アクティビティ	奄美大島 マングローブカ	世界自然遺産の島でのんびり大自然を満喫！	住用町	奄美大島	◎	-	◎
23	アクティビティ	奄美大島 クリアsup	人気急上昇中！クリアSUP（スタンドアップパドル）で奄美ブルーの海で	龍郷町	奄美大島	◎	-	◎
24	アクティビティ	電気自動車で行く奄美大島	★奄美工コツアーガイド連絡協議会認定ガイド（もしくは熟練のスタッフ）	龍郷町	奄美大島	◎	-	◎
25	アクティビティ	スリル満点！奄美4輪バギー	空港より名瀬方面へ約20分、龍郷町赤尾木の集落周辺を、裏道中心にご案	龍郷町	奄美大島	-	-	◎
26	アクティビティ	奄美ブルーの海や川でテン	東洋のガラパゴス・世界遺産の島☆奄美大島で贅沢ととのい体験しません	龍郷町	奄美大島	-	-	◎
27	アクティビティ	奄美大島 ジェットツアーリ	世界遺産に認定された、南国・楽園の奄美大島で	龍郷町	奄美大島	◎	-	◎
28	アクティビティ	日中に大自然を満喫！ジャ	世界遺産に認定された、南国・楽園の奄美大島の大自然を満喫のジャングル	住用町	奄美大島	◎	-	◎
29	アクティビティ	奄美大島 サンセットク	世界遺産に認定された南国・楽園の奄美大島の綺麗な海で爽快感を味わえま	龍郷町	奄美大島	-	-	△
30	アクティビティ	奄美大島 コウトリビーチ	世界遺産登録の奄美大島でボートチャーター！	龍郷町	奄美大島	-	-	△
31	アクティビティ	冬でも楽しめる 奄美でウ	ファミリーやカップルに大人気！ウミガメ探索シュノーケリング体験	龍郷町	奄美大島	◎	-	◎
32	アクティビティ	絶景巡り 半日or1日ツ	美しいビーチや絶景スポットを巡る完全貸切ツアー！	龍郷町	奄美大島	-	-	◎
33	アクティビティ	ミッドナイトツアー・少人数	ナイトサファリツアー専門店の4WDジープでアマミノクロウサギなどの動植	住用町	奄美大島	◎	-	△
34	アクティビティ	ガイド付き金作原散策ト	金作原は巨大な天然の亜熱帯植物が多数存在している原生林です。普段見か	住用村	奄美大島	◎	-	◎
35	アクティビティ	神秘的な空間を満喫！ナイ	ライトを照らしながらゆっくりマングローブ原生林を進んでいきます。	住用村	奄美大島	◎	-	◎
36	アクティビティ	奄美ブルーの海でボート	透明度抜群！奄美ブルーの海へご案内いたします。	龍郷町	奄美大島	◎	-	△
37	アクティビティ	ホエールウォッチング（半	大型クルーザーで行くON SHOREだけの特別なホエールウォッチング！安定	龍郷町	奄美大島	-	-	△
38	アクティビティ	綺麗な海の奄美にきたらダ	・海の世界をのそてみたい	名瀬入舟町	奄美大島	◎	-	◎
39	アクティビティ	ホエールスイム 生涯忘れ	ホエール ガイド がサポート！大きくも繊細なザトウクジラが泳ぐ姿を水面	龍郷町	奄美大島	◎	-	◎
40	アクティビティ	船釣り（120分）手ぶらで参	世界遺産に認定された、南国・楽園の奄美大島でフィッシングクルーズ☆	龍郷町	奄美大島	-	-	◎
41	アクティビティ	絶景に出会える！セグウェイ	セグウェイとは？	住用町	奄美大島	-	-	◎
42	アクティビティ	奄美大島観光＝陸のツアー1	＝完全貸切のプライベートツアー＝	笠利町	奄美大島	△	-	◎
43	食事	isolaイチャオシ！！isola	奄美空港から車で約20分。	龍郷町	奄美大島	-	-	◎
44	アクティビティ	H.バードウォッチング（車	沖永良部島では現在約150種類ほどの野鳥が確認されています。	和泊町	離島	◎	-	◎
45	文化体験	泥染体験 オリジナル作品	本場奄美大島紬の工程の一つ、泥染を気軽に体験できます。	龍郷町	奄美大島	-	◎	◎
46	文化体験	着付体験☆一度は着ておき	お洋服の上から本場奄美大島紬をお着付け施設内で写真撮り放題のプラン	龍郷町	奄美大島	-	◎	◎
47	文化体験	季節ごとの楽しめる旬のフ	奄美大島でフルーツ狩り・野菜収穫体験をしませんか？	住用町	奄美大島	-	△	◎

(3) コンセプト設定

市場の現状把握、ターゲット層の在り方、コンテンツの評価等、各種調査の結果を踏まえ、沖縄・奄美地域の差別化の方向性を整理し、ツアーコンセプトを設定した。地域の自然、文化、歴史を反映させることで、訪問者にとって魅力的かつユニークな体験を提供することを目指した。

両地域に共通する「長寿文化」 沖縄・奄美地域の島々のセンテナリアン※のライフスタイル

※センテナリアンとは、百歳以上の長寿者を指す言葉で「1世紀以上を生き抜いた」という意味がある。

キーワード：“Ikigai／生きがい”

沖縄・奄美地域のセンテナリアンは、「生きがい」を大切に生活している。「地域のために」「子どもたちのために」といった明確な目的意識を持ち、家族や社会との強い絆を築いている。日常では、自然と体を動かす活動や植物性食品中心の食事を実践し、心身の健康を維持している。この「生きがい」が、彼らの長寿と高い生活の質に寄与している。

Ikigai Tourism

沖縄・奄美地域のATのツアーコンセプトは、地域のセンテナリアンのライフスタイルを基に「Ikigai Tourism」とする。

ツアーでは、自然と触れ合いながら適度な運動を行い、植物性食品を中心とした食事を楽しむことができる。また、家族や社会との強い絆を築く活動も取り入れる。これにより、参加者は心身の健康を維持しながら、地域の文化や歴史を深く理解することができる。

「Ikigai Tourism」では、「自然とのつながり」、「人とのつながり」、「地域とのつながり」の3つの視点から地域資源を整理し、ユネスコ世界自然遺産の豊かな生態系を活用したアウトドア体験、地域住民との交流を通じた「生きがい」の学び、そして複雑な歴史的背景を踏まえた文化体験を提供することで、旅行者に心身の健康促進と地域の深い理解を促す独自のツアーコンセプトを展開する。

コンセプトステートメント案

—— 黒潮が紡ぐ命と知恵：世界自然遺産で見つけるあなたの生き方 ——

沖縄・奄美地域に広がる世界自然遺産は、黒潮がもたらす豊かな生態系と、その恩恵を受けた長寿文化が織りなす特別な場所です。このツアーでは、黒潮が育んだ美しいサンゴ礁やマングローブ林、希少な動植物を探りながら、自然と共に生きるセンテナリアン（100歳以上の長寿者）たちのライフスタイルを体験します。彼らの「生きがい」を大切にした生き方は、自然のリズムに寄り添い、強い社会的つながりを持ちながら心身を健康に保つことの重要性を教えてください。

世界自然遺産の地で、黒潮の恵みを感じながら、あなた自身の生き方について新たな視点を見つけることができるでしょう。沖縄・奄美の自然と文化が一体となったこの冒険は、あなたに「生きがい」の意味を問いかけ、日常の中で見失いがちな自己の再発見を促す感動的な旅へと誘います。自然と共生する島々での体験を通じて、自分自身の人生の指針を見つけ、新たな目的を見出す特別な時間をお楽しみください。

"The Lifeblood of Kuroshio: Discovering Your Path in the Embrace of Nature and Wisdom"

In the Okinawa and Amami regions, where the powerful Kuroshio current breathes life into the rich ecosystems, lies a world heritage site where nature's bounty and ancient wisdom converge. This journey invites you to explore the pristine coral reefs, mangroves, and rare wildlife nurtured by the warm Kuroshio, while immersing yourself in the lifestyle of centenarians who have thrived in harmony with these gifts for over a century. Their way of life, centered on a profound sense of "Ikigai"—a purpose for living—teaches us the importance of living in sync with the natural rhythms, maintaining strong social connections, and nurturing both body and spirit.

As you wander through these lands, touched by the life-giving current of the Kuroshio, you will find yourself reflecting on your own path. The unique blend of nature and culture in Okinawa and Amami offers not just an adventure, but a transformative experience that resonates deep within. This is a journey where the lessons of longevity and the wonders of the natural world intertwine, guiding you to rediscover your sense of purpose and uncover new meaning in your life. Let the Kuroshio's embrace lead you to a moment of awakening, where you reconnect with yourself and find inspiration in the simple, yet profound, way of living practiced by the island's elders.

(4) モデルプラン仮説設定

当地域の目指すATのコンセプトを体感できるコンテンツはどのように組合せるべきか、旅行者が共感できるストーリーテリングのポイントは何か、魅力的なAT商品はどうあるべきか、研修会を通して地域の観光事業者、関係者への理解、浸透を図った。
また、旅行者を受入る立場としてどのような意識が必要か、AT推進にむけてリスクマネジメントの視点からも情報を共有した。

適切なAT推進にむけて、テーマ別に研修会を開催した。

セッション	項目	内容
第1回 研修会 2024年10月3日（木）	ターゲット	高付加価値旅行者をターゲットとし、特に「ブルーゾーン」の長寿文化に着目した「生きがいツーリズム」というコンセプトを構築する。
	商品造成	地域の独自性とAT市場の親和性を考慮し、コアターゲットの明確化を行う。自然、文化交流、フィジカルアクティビティを組み合わせた、上質な体験を提供する。地域経済活性化と潜在価値向上を目指し、持続可能な観光を推進する。
	研修内容	沖縄・奄美におけるATの可能性、高付加価値旅行、生きがいツーリズムの可能性について学ぶ。
第2回 研修会 2024年11月5日（火）	テーマ	世界に向けたATのコンテンツ開発とマーケティング手法
	研修内容	効果的なマーケティング戦略：顧客ニーズ、競合分析、差別化戦略、デジタルマーケティング活用。 魅力的なコンテンツ開発：テーマ設定、地域の資源活用、ストーリーテリング、顧客体験向上。大阪・関西万博を契機としたインバウンド集客。
	課題	沖縄・奄美エリアのAT推進において、誘客・プロモーションが大きな課題。
第3回 研修会 2024年12月5日（木）	テーマ	AT推進における「リスクマネジメント」と「法令遵守」
	研修内容	安全対策：危機管理、安全対策の重要性、事故事例を基にした具体的な対策。 法令遵守：旅行業法、旅行サービス手配業登録、法令遵守のポイント。

① 第1回 研修会

日時	2024年10月3日（木） 13:00～17:00
開催形式	リアル開催 ※アーカイブ配信あり
会場	沖縄県教職員共済会館 八汐荘（那覇市松尾1丁目1-6-1）
対象	沖縄県及び奄美群島内の観光関連事業者、自治体・関係団体職員
参加費	無料 ※事前申込制
参加者数	リアル参加30名／アーカイブ視聴39名 https://youtu.be/TC28U5MRwtg?si=yYTjUNNV5wHjWLBc
主催	沖縄・奄美 共同検討委員会 （沖縄県・沖縄振興開発金融公庫・内閣府沖縄総合事務局・鹿児島県・九州運輸局）
主な内容	●事業趣旨説明 ●事業目的、内容説明 ●講義① 「世界に沖縄県・奄美群島地域に共通する長寿文化を発信！ Ikigai Tourismの可能性」 ●講義② 「沖縄・奄美の世界自然遺産の価値を守り育む高付加価値観光について」 ●トークセッション テーマ：「沖縄・奄美地域における高付加価値旅行のあり方」



講師プロフィール

山下 真輝 氏

(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会 理事／(株)JTB総合研究所 主席研究員
内閣官房地域活性化伝道師として全国各地の自治体やDMOに観光振興に関するアドバイスやコンサルティングを行い、観光関連政策の各種委員や観光関連団体の役員も多数務めている。全国各地でのセミナーやフォーラムにおける講演やモデレーターとしての出演依頼も多く、観光関連研修での講師としても活躍している。2019年に日本国内のATの普及啓発を目的として、(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会を設立し、現在は業務執行理事として事務局を運営している。昨年度創設されたウェルネスステイネーションアワードの審査員も務め、ATにウェルネスツーリズムの要素を取り入れた「Ikigai Tourism」を提唱し、商品開発や市場調査に取り組んでいる。



山崎 麻里 氏

環境省沖縄奄美自然環境事務所

2007年環境省入省。九州地方環境事務所、白神山地世界遺産センター、自然環境計画課（生物多様性）、鳥獣保護管理室、三重県庁、東京大学、国立公園課（国立公園満喫プロジェクト）等を経て現職。国内満喫プロジェクトの政策にも深く関わった経験がある。なお、同事務所は、奄美群島国立公園・西表石垣国立公園・慶良間諸島国立公園・やんばる国立公園の4つの国立公園を所管。



仲本 いつ美 氏

株式会社 Endemic Garden H 代表取締役

古民家や空き地を再利用した分散型・滞在型ホテル「やんばるホテル南冥森室」の創設者。地域の文化と歴史を尊重しながら新たな価値と可能性を探索する ビジョンは、同社を持続可能な観光の先駆者になっている。



プログラム

事業主旨説明	山田みさよ氏（沖縄県文化観光スポーツ部観光政策統括官）
	● 事業の目的は、沖縄・奄美地域において、高付加価値なインバウンド観光地づくりとATを推進することであることを確認した。 ● 事業の内容は、コアターゲットの明確化、専門家による課題の抽出と解決、ATの造成販売実施、外国人市場へのアプローチ方法と販売チャンネルの明確化、情報伝達、流通に必要な事項の把握、プロモーション活動、推進体制の構築支援、関連人材の育成、国内外のネットワーク構築、海外展開強化とした。
講義①	世界に沖縄県天海群島地域に共通する長寿文化を発信 生きがいツーリズムの可能性 山下真輝 氏（一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会 業務執行理事）
	● 沖縄・奄美地域の長寿文化に着目し、世界的に注目されている「ブルーゾーン」の概念や、その地域に共通する9つのルールを紹介した。 ● 特に「生きがい」というキーワードを重視し、それをATにつなげていく「生きがいツーリズム」の概念を提唱した。 ● ATの定義、世界のトレンド、旅行者の変化などを説明し、沖縄・奄美地域におけるATの可能性について解説した。 ● 高付加価値なAT商品を企画するポイントとして、特別な体験の提供、教育的要素と意識の向上、少人数での実施、価格設定、自然保護活動や集落の保全などを挙げた。 ● 世界遺産の目的や地域資源の重要性に触れ、世界で選ばれるデスティネーションを目指すべきだと訴えた。
講義②	沖縄天海の世界自然遺産の価値を守り育む高付加価値観光 山崎真理 氏（環境省沖縄天海自然環境事務所国立公園企画官及び自然環境整備企画官）
	● 世界自然遺産の概要、沖縄・奄美地域の自然環境の特徴と価値、世界遺産登録までの経緯、課題などを説明した。 ● 国立公園の役割、日本の自然環境の特徴、国立公園利用推進の取り組みなどを紹介し、ATとの親和性について解説した。 ● 国立公園における高付加価値化の取り組み、インタープリテーションの重要性、エコツーリズムとの共通点などを説明した。 ● 世界自然遺産の価値を守り、育む高付加価値観光のあり方について、ストーリー、体験、インタープリテーション、持続可能な利用、地域社会への貢献などをキーワードに提言した。
トークセッション	沖縄天海地域における高付加価値旅行のあり方 <モデレーター> 河村氏（沖縄JTB株式会社） <パネリスト> 山下真輝氏、山崎真理氏、 仲本一美氏（株式会社エンデミックガーデンH 代表取締役）
	● 仲本氏が、やんばるホテル南冥森室の事例紹介として、地域住民との連携、地域資源を活用した体験プログラム、シェルパの存在などを紹介した。 ● 生きがいツーリズムに関して、地域住民の生活への影響、旅行者への伝え方、地域への還元など、具体的な課題や取り組みについて議論した。 ● インタープリテーションについて、地域が伝えたいこと、対象とする旅行者、伝え方など、重要性和注意点を議論した。 ● 食の提供について、地域食材の活用、制限への対応、体験プログラムへの組み込みなど、具体的な事例や工夫を共有した。 ● ストーリーテリングについて、地域の文化や歴史、自然との関わり、ガイドの役割、パーソナルストーリーの重要性などを議論した。 ● 高付加価値旅行の価格設定について、価値に見合った対価、地域への還元、旅行者の意識、海外事例などを議論した。 ● 保全と利用について、好循環の仕組みづくり、ルール設定、地域への還元、利用者負担などを議論した。
閉会挨拶	西村本一氏（鹿児島県観光文化スポーツ部PR観光課 主管県海外誘致係長）
	● 各講演、トークセッションの内容を振り返り、今後の事業への期待を述べた。

告知用ブローシャー／A4サイズ

**令和6年度高付加価値なインバウンド観光地づくり事業
アドベンチャーツーリズム推進事業
第1回研修会**
(全3回開催)

【本研修会について】
沖縄・奄美 共同検討委員会より、高付加価値なインバウンド観光地づくり事業 アドベンチャーツーリズム推進事業 第1回研修会のご案内です。
沖縄・奄美エリアは、高付加価値旅行者の誘客に向けて集中的な支援を行うモデル観光地として観光庁より選定されています。
本事業では、多彩で質の高い観光を推進するため、沖縄・奄美エリアの豊かな自然と独自の文化を活かしたアドベンチャーツーリズムの実証を行っているところです。
今回の研修会は全3回を予定しており、地域経済の活性化と持続可能な観光モデルの確立を目指し、アドベンチャーツーリズム推進のための体制整備や関連人材の育成、国内外関係者とのネットワーク構築について学びます。第1回は会場参加とアーカイブ配信となります。

■開催概要	■当日のプログラム(予定)
■日時 2024年10月3日(木) 13:00～17:00 ■参加方法 会場参加 ※アーカイブ配信のご希望は下記よりお申込みください。 ■会場 沖縄県教職員共済会館 八汐荘 (住所: 沖縄県那覇市松岡1丁目1-6-1) ※お車でご来場の方は以下HPの案内をご確認願います。 http://www.okikyoukai.jp/top/yasiosou/yasiosou.html ■定員 会場参加40名 ■対象 沖縄県及び奄美群島内の観光関連事業者、自治体・関係団体職員 ■参加費 無料(事前申込みが必要となります。) ※会場までの交通費はご負担願います。 ■申込方法 以下のURL又は右記QRコードより申し込みください。 https://s.gd/fb68a	12:30 受付開始 13:00 司会挨拶・プログラム説明 13:05 開会あいさつ・事業主旨説明(沖縄県庁) 13:15 今年度事業の目的・事業内容説明 (発表者 沖縄JTB株式会社) 13:30 講義①「世界に沖縄県・奄美群島地域に共通する 自然文化を発信! Ikigai Tourismの可能性」 講師: (一社) 日本アドベンチャーツーリズム協議会 理事 山下 真輝 氏 14:30 講義②「沖縄・奄美の世界自然遺産の価値を守り育む 高付加価値観光について」 講師: 環境省沖縄奄美自然環境事務所 山崎 麻里 氏 国立公園企画部/自然環境整備企画官 15:30 休憩 <トークセッション> テーマ: 「沖縄・奄美地域における高付加価値旅行のあり方」 パネラー: (一社) 日本アドベンチャーツーリズム協議会 理事 山下 真輝 氏 環境省沖縄奄美自然環境事務所 山崎 麻里 氏 (株)Endemic Garden H 代表 仲本 いつ美 氏 16:30 閉会あいさつ(鹿児島県庁)

■登壇者プロフィール

登壇者変更となりました

(一社) 日本アドベンチャーツーリズム協議会
業務執行理事
(株) JTB総合研究所 主席研究員
山下 真輝 氏

内閣府地域活性化推進部として全国各地の自治体やDMOに観光振興に関するアドバイスやコンサルティングを行い、観光関連政策の各種委員や観光関連団体の役員も多数務めている。全国各地でのセミナーやフォーラムにおける講演やモデレーターとしての出演依頼も多く、観光関連研修での講師としても活躍している。2019年に日本国内のAT(アドベンチャーツーリズム)の普及啓発を目的として、(一社) 日本アドベンチャーツーリズム協議会を設立し、現在は業務執行理事として事務局を運営している。昨年度創設されたウェルネスデザインেশンアワードの審査員も務め、ATにウェルネスツーリズムの要素を取り入れた「Ikigai Tourism」を提唱し、商品開発や市場調査に取り組んでいる。

環境省沖縄奄美自然環境事務所
山崎 麻里 氏

2007年環境省入省。九州地方環境事務所、白神山
地世界遺産センター、自然環境計画課(生物多様
性)、鳥獣保護管理室、三重県庁、東京大学、国立
公園課(国立公園海境プロジェクト)等を経て現職。

株式会社 Endemic Garden H 代表取締役
仲本 いつ美 氏

古民家や空き地を再利用した分譲型・滞在型ホテル
「やんばるホテル南洲森家」の創設者。地域の文化と
歴史を尊重しながら新たな価値と可能性を追求する
ビジョンは、同社を持続可能な観光の先駆者になっている。

【主 催】 沖縄・奄美 共同検討委員会(沖縄県・沖縄振興開発金融公庫・内閣府沖縄総合事務局・鹿児島県・九州運輸局)
【問合せ先】
沖縄・奄美 共同検討委員会 事務局(沖縄JTB株式会社 内) at_oki@okw.jtb.jp [担当: 早稲田・安田・江藤・河村]

<受付方法>

Microsoft Formsに参加申込フォームを開設し、URLまたはQRコードより申込を受け付けた。

研修会参加者数(業種別)

アクティビティ事業者	5
その他観光関連事業者	7
その他観光関連団体	6
その他組織団体	3
観光協会	9
個人	1

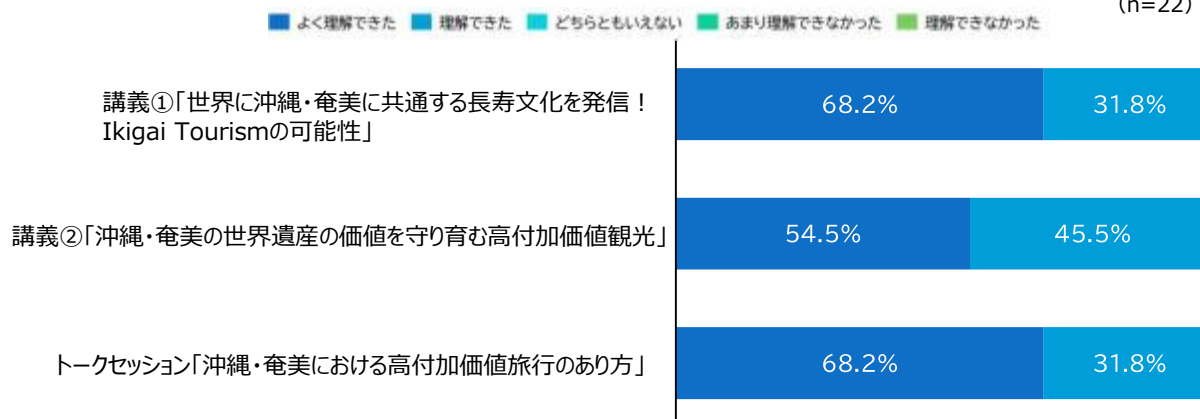
広告会社・事務局	1
行政機関	8
宿泊関係者	8
通訳・ガイド(個人)	3
旅行会社	18

—— 参加者アンケート結果 ——

Q1. 各講義内容はどの程度理解できましたか？

(テーマ別理解度／単一回答)

(n=22)



✓ アンケート回答者のうち、すべての講義で半数以上が「よく理解できた」を回答。

Q2. 講義①の中で提唱されたツアーコンセプトについての感想を自由にご記入ください。

(ツアーコンセプト／自由回答)

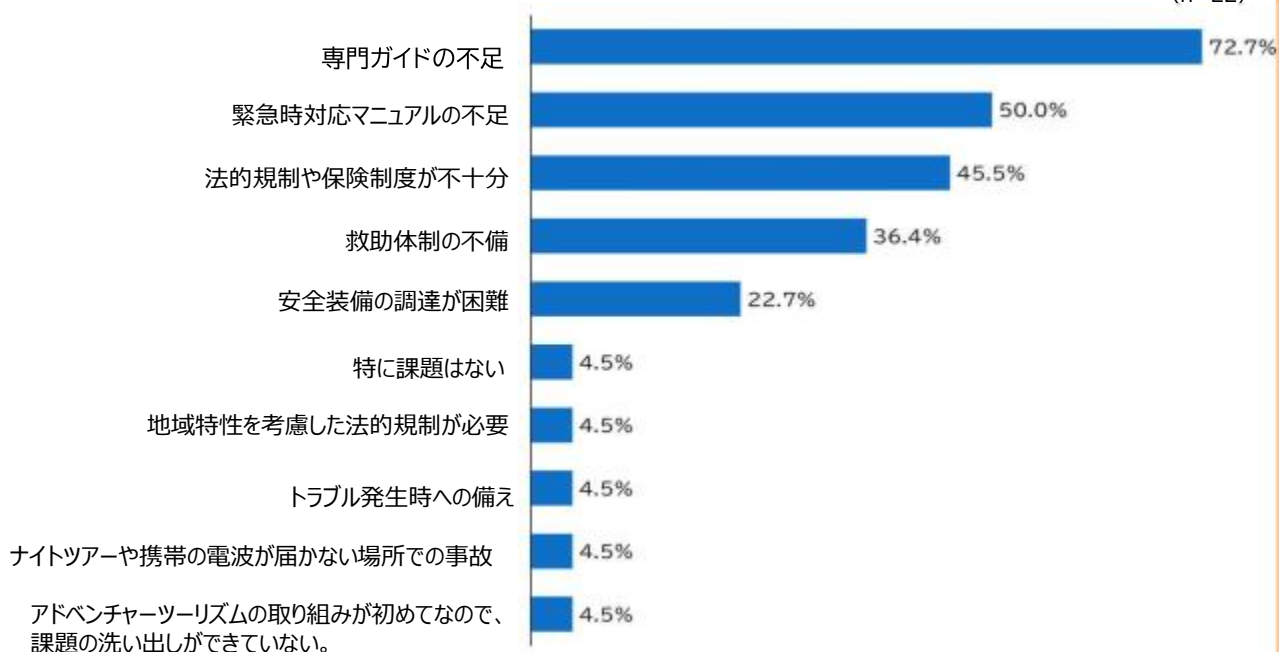
※青字：今後改善・検討が必要と思われる事項

- 次世代に何を残すか、を明確にし、言語化していく作業の必要性を実感しました。
- 実際に旅行商品にするには、地元の理解と連携が不可欠で、やっぱり難しいことがたくさんあると思いました。世界遺産の最後の提唱は感銘を受けました。
- 「Ikigai」と言われて、この研修自体が自分を見つめなおす機会になった。
- コンセプトの背景が理解できてようやく腹落ちはできた。一方、**長寿ではなくなりつつある現状を鑑みると、目的意識や人とのつながりといった抽象的なものに加えて、運動や食生活といった具体的なものもツアーコンテンツに入れて行かなければ旅行者には伝わらないと感じた。**
- センテナリアンのライフスタイルに学ぶこともツアーエッセンスとして入れ込む事（**自然・人・地域を基軸とし、食・精神性なども加え**）も一つの考え方である。
- 生きがい認識して、生活をしている人は多くないので、造成が難しそうだと感じた。モデルツアー等があれば参加してみたい
- 沖永良部島もまさにブルーゾーンに当たるのでとても興味深く感じました。自分の事業とかなり近いので興味深く拝見しました。
- Blue zone、Ikigai、自然も地域住民も旅行者も三方よしが印象に残った。Blue zoneと言う言葉は初めて聞いたが、長寿は人類皆の願い、ツアーの切り口に十分なりうると思う。今後の研修でも自分なりの切り口探しに注力しようと思う。
- 価格付加価値に含まれる、視点の多様性に気付かされた。
- 実際に、やんばるを訪れたオランダ人観光客に、「あなたの生きがいは？」と聞かれたことがあり、その理由がこれを聞いて腑に落ちました。
- 弊社ではすでにブルーゾーンのATを実施しているのですが、**様々な沖縄の長寿の秘訣の中でも「Ikigai」に最も強い関心を持たれる方が多い印象でした。**講義を伺い、「Ikigai」というコンセプトをしっかりと沖縄のブルーゾーンに関わるATツアーの核にすることの重要性を再認識いたしました。
- このツアーコンセプトは、ガイド事業者だけでなく、**地域の方と共同で初めて成り立つもの**だと理解した。この手のコンセプトを成功させるにあたって、地域の方の今の生活が続けたい（奄美大島で言えば観光で稼ぐのではなく奄振法に頼って静かな生活が続けたい）という思いと右記の思いを越えてくる何か、といった構図を一緒に見出し作っていく必要があるのでは、感想ということであれば、**同じような状況で共同事業として成功させた例があれば、学びたい**と思った。
- 「生きがい」発見ツアーや長寿文化発信にはとても衝撃を受けました。**ストーリーの作り方もっと知りたい**です。
- Ikigai Tourismの可能性は大いにあると思う。ただ**老人たちの負担にならないような仕組み作り**が必須。
- 地元の良さを引き出し、それを上手く伝えることが最も大切で、地元にも還元出来る事だと思いました。
- 自然と人間、とても大事にしているのは伝わりました。特に目に見えないものは大切だと思いました。
- 奄美 沖縄の素晴らしい文化、自然、食、言語、歴史をこれから世界中の訪問者に伝える重要性を痛感しています。大変参考になりました。
- Blue zone 長寿文化を体験して頂く事によって沖縄のおいしい、おばあ様に健康で幸せに生き甲斐を持って生活出来る年配の人々が世界各地に広がれば、望ましいと思います。

Q3. 安全管理の面で課題だと思う点をお選びください。(複数選択可)

(安全管理上の課題/複数回答)

(n=22)

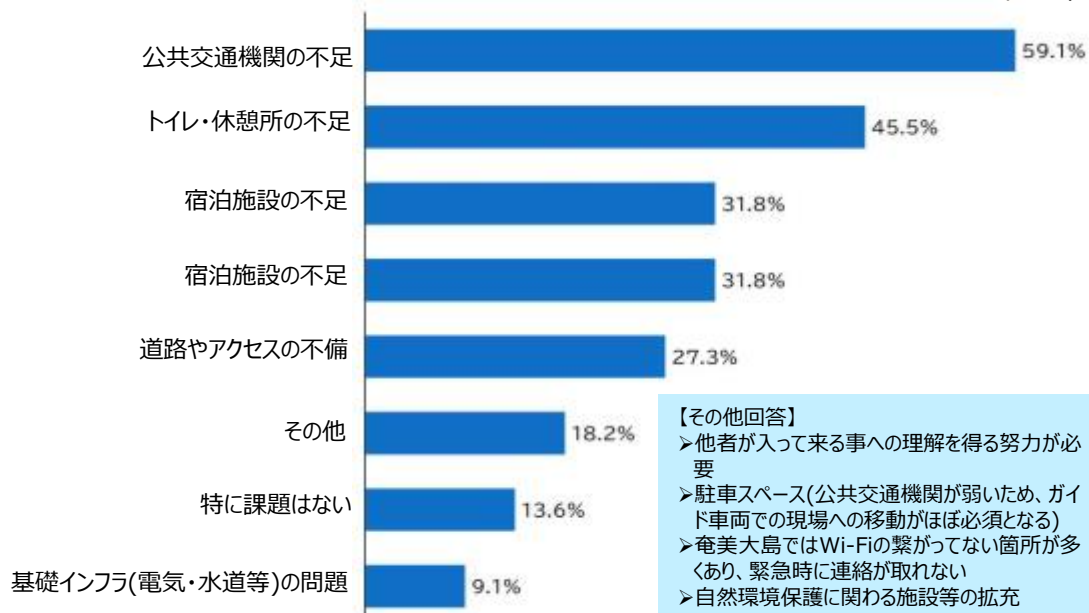


✓ アンケート回答者のうち、「専門ガイドの不足」が最も多く、次いで「緊急時対応マニュアルの不足」と続く。

Q4. インフラの面で課題だと思う点をお選びください。(複数選択可)。

(インフラ上の課題/複数回答)

(n=22)

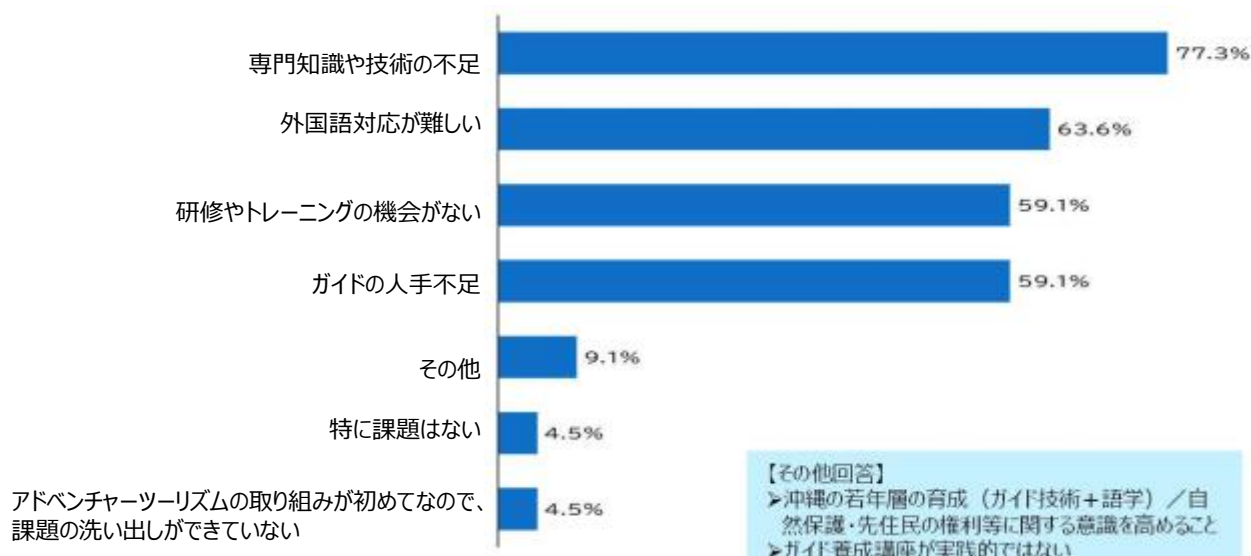


✓ アンケート回答者のうち、「公共交通機関の不足」が最も多く、次いで「トイレ・休憩所の不足」と続く。

Q5. ガイド・インストラクター育成の面で課題だと思う点をお選びください。(複数選択可)

(ガイド・インストラクター育成上の課題／複数回答)

(n=22)

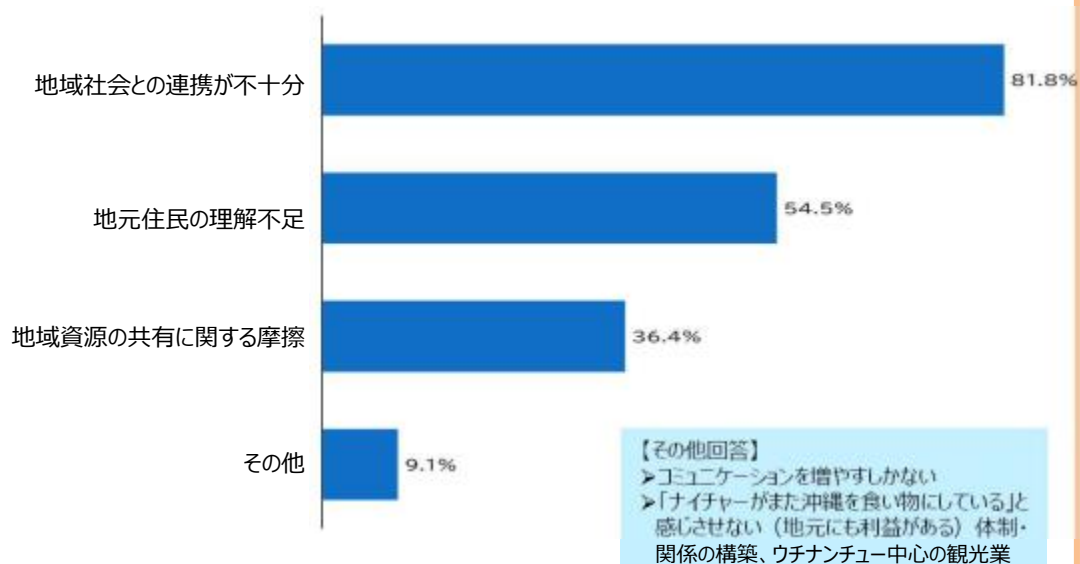


- ✓ アンケート回答者のうち、「専門知識や技術の不足」が最も多く、次いで「外国語対応が難しい」と続く。
- ✓ 「研修やトレーニングの機会がない」は全体の約 60% が回答しており、今後の展開策の検討が必要と示唆される。

Q6. 地元住民との協力関係において課題だと思う点をお選びください。(複数選択可)

(地元住民との協力関係上の課題／複数回答)

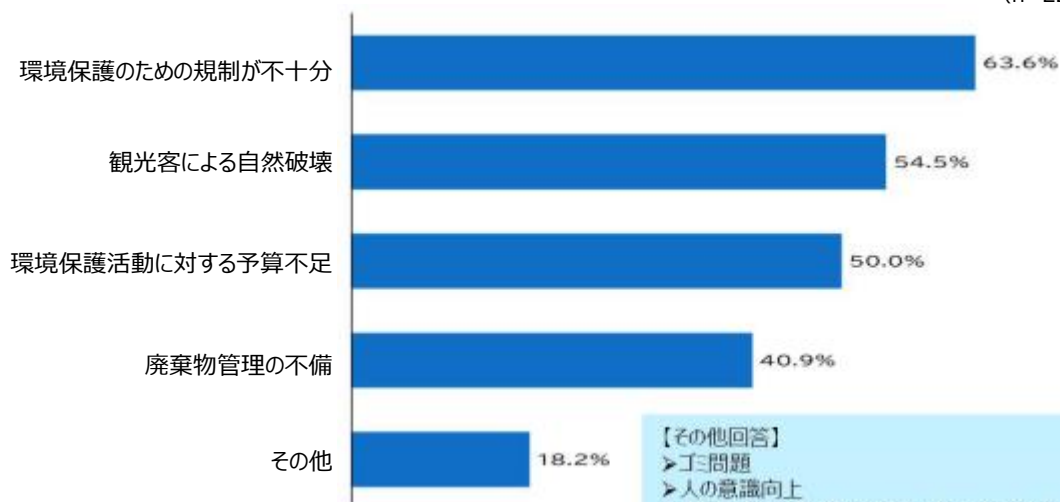
(n=22)



- ✓ アンケート回答者のうち、「地域社会との連携が不十分」が最も多く、次いで「地域住民の理解不足」と続く。

Q7. 自然環境保護の面で課題だと思う点をお選びください。(複数選択可)
(自然環境保護上の課題／複数回答)

(n=22)

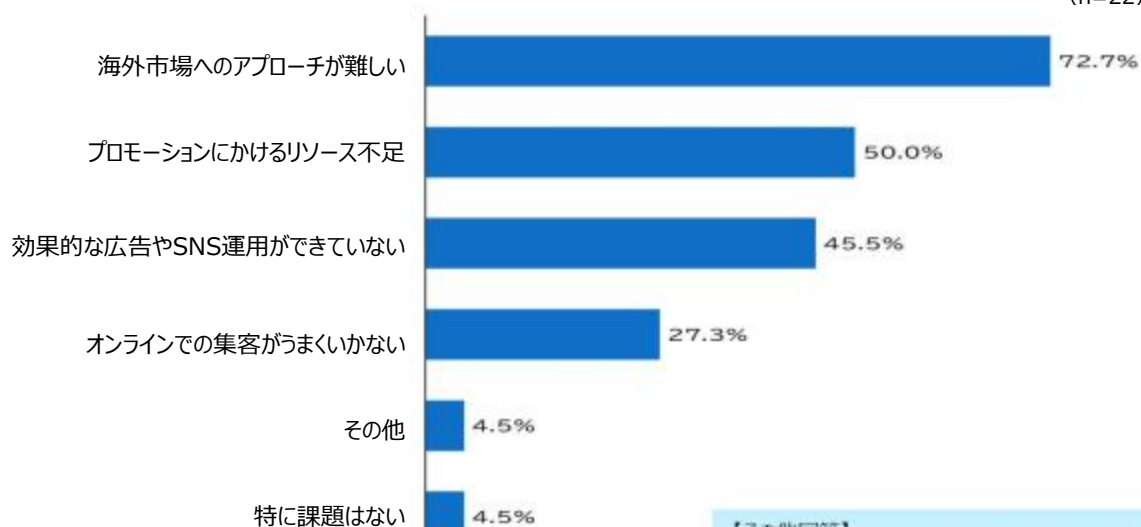


【その他回答】
 >ゴミ問題
 >人の意識向上
 >侵略的外来種の侵入抑制（ゲートを設けて、靴底の消毒を徹底するなど）
 >注意喚起したい相手に情報を伝える工夫が足りない

✓ アンケート回答者のうち、「環境保護のための規制が不十分」が最も多く、次いで「観光客による自然破壊」と続く。

Q8. マーケティング活動の面で課題だと思う点をお選びください。(複数選択可)
(マーケティング活動上の課題／複数回答)

(n=22)



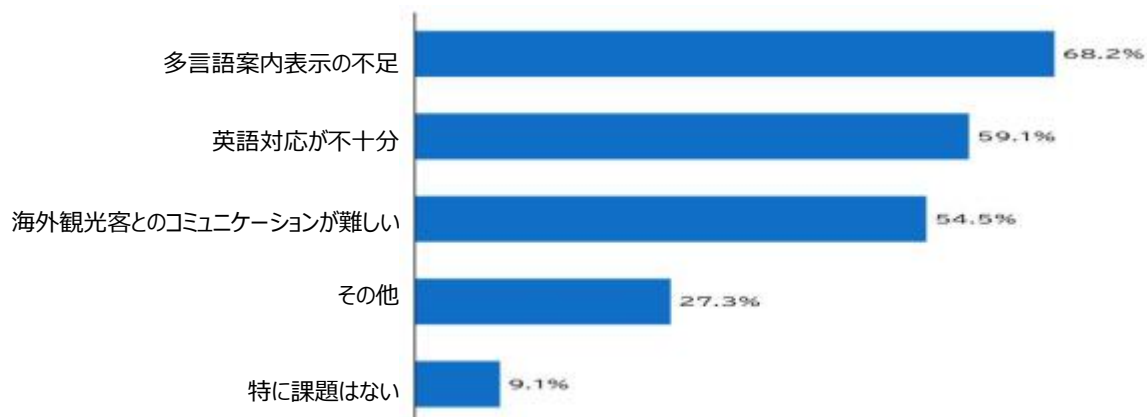
【その他回答】
 >アドベンチャーツーリズムの取り組みが初めてなので、課題の洗い出しができていない。

✓ アンケート回答者のうち、「海外市場へのアプローチが難しい」が最も多く、次いで「プロモーションにかかるリソース不足」と続く。

Q9. 多言語対応の面で課題だと思う点をお選びください。(複数選択可)

(多言語対応上の課題／複数回答)

(n=22)



【その他回答】

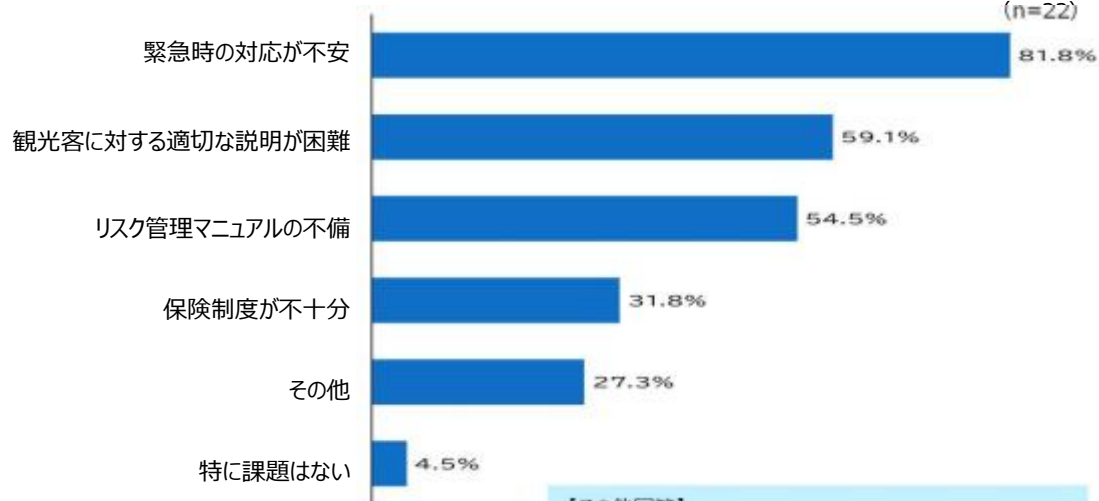
- 地域性を出した対応
- 日本の語学教育（「使う機会」の欠如）
- 相乗りのガイドツアー（奄美大島はまだインバウンドが少なく、私も提供するツアーは日本語と基本相乗りとなる。幸いお客様のリがよくクレームは出ていないが、各言語で都度説明するため、日本語の内容が不十分となる。英語専用の貸し切りツアーを設定しているが、少人数には割高で、英語圏の方もシェアードプランを希望する。
- 観光案内所に多言語が話せる人材不在
- アジア圏の言語対応が不十分（正しい情報を提供しているかわからない）
- ATに理解のある通訳の育成

✓ アンケート回答者のうち、「多言語案内表示の不足」が最も多く、次いで「英語対応が不十分」と続く。

Q10. リスクマネジメントの面で課題だと思う点をお選びください。(複数選択可)

(リスクマネジメント上の課題／複数回答)

(n=22)



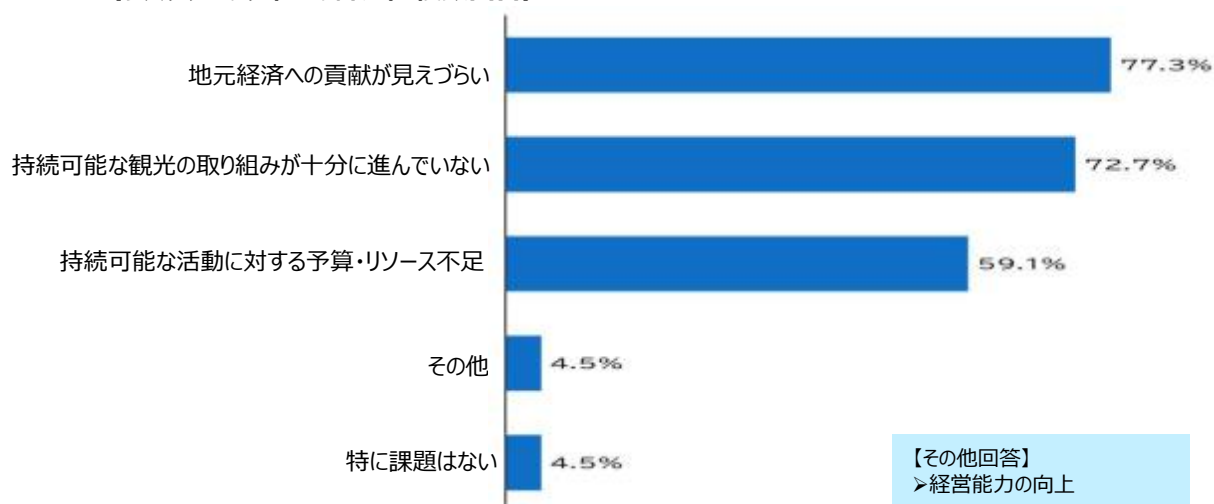
【その他回答】

- ロールプレイ不足
- ガイド教育
- 台風の際の情報配信
- 訪日外国人向けの保険内容を確認できていない
- 保険制度が不十分
- 保険に入れないプログラムや高額すぎる保険代

✓ アンケート回答者のうち、「緊急時の対応が不安」が最も多く、次いで「観光客に対する適切な説明が困難」と続く。

Q11. サステナビリティの面で課題だと思う点をお選びください。(複数選択可)
(サステナビリティ上の課題／複数回答)

(n=22)



✓ アンケート回答者のうち、「地域経済への貢献が見えづらい」が最も多く、次いで「持続可能な観光の取組が十分に進んでいない」と続く。

Q12. その他、ご質問やご意見がございましたらご記入ください
(その他の感想等／自由回答)

※青字：今後改善・検討が必要と思われる事項

- 沖縄奄美の良さを消費するだけでなく、次世代に残していく作業を分担していかななくてはならない。ポイントオブノーリターンの時期となっている。**高付加価値という言葉では何か間違った方向に商いが進む危うさを感じたのは、私だけでしょうか？**
- 行政職員の参加はどの程度あったのでしょうか。**市町村職員の意識改革をしないと、今後どんどん民間との乖離が進むと危惧しています。**
- 奄美は、まだ個人旅行の外国人が多いとはいえない。**大型クルーズ船でキャパを越えた客が島に降り、不便な公共交通、タクシー不足、早朝には店は開かない等々、がっかりさせる要素が多い。**地域状況をみた集客にならなくてはと思う。
- ブルーゾーンについて沖縄は、戦争を生き抜いた歴史的観点と、先祖崇拝の思想も重要ポイントだと思いました。
- 高付加価値を伴う魅力ある観光地作りに関して、**まだまだ対処できていない食の問題**があると思うのですが。例えば海外からいらっしゃる富裕層にはベジタリアン、ビーガンの方がいたりします。**ホテルやレストランではメニューがない事が多いのですが、何か対策はしていますか？**
- クルーズ船来島時の**交通機関の不足**、とくに**タクシーを利用して地元の医療機関を利用するお年寄りの方々は大変困っている状況**です。またツアー客の方もタクシーが利用出来ず困惑しているようでした。地元のキャパに対応できる位の人数なら受け入れ側は観光客のニーズに適したおもてなしが出来ると思います。

第2回 研修会

日時	2024年11月5日（月） 13:00～15:30
開催形式	オンライン ※アーカイブ配信あり
対象	沖縄県及び奄美群島内の観光関連事業者、自治体・関係団体職員
参加費	無料 ※事前申込制
参加者数	オンライン参加38名／アーカイブ視聴22名 https://youtu.be/x8cu4Wx3JMQ?si=V8mXGWuDuHu_lwJN
主催	沖縄・奄美 共同検討委員会 (沖縄県・沖縄振興開発金融公庫・内閣府沖縄総合事務局・鹿児島県・九州運輸局)
主な内容	●講義① 「世界にむけたATのコンテンツ開発・マーケティング手法」 ●講義② 「大阪・関西万博を契機としたインバウンド集客について」 ●大阪万博の情報提供 ①「万博観光ポータルサイト・システム登録について」 ②「万博商品の申請サポートの概要について」

講師プロフィール

マイケル・ジョン・ハリス 氏

(一社) 日本アドベンチャーツーリズム協議会理事
株式会社 キャニオンズ チーフエクスペリエンスオフィサー
ニュージーランド出身、キャニオニング・ラフティング・バックカントリー・スノーシュー・ケイビングなどのアウトドア・ツアーの催行を行っている。日本で最初にキャニオニングをツアーとして確立したパイオニアでありスノーキャニオニングの立案者。長年の経験と多岐に亘る豊富なアウトドアスキル、絶大なカリスマ性でCANYONSに留まらず日本の業界そのものを牽引する。“世界をリフレッシュする”をミッションに今日も全力を注いでいる。



川村 泰正 氏

(公社)2025年日本国際博覧会協会 広報・プロモーション局 地域・観光部 審議役



<大阪万博の情報提供>

秋葉 めぐみ 氏

株式会社JTBEリアソリューション事業部 企画・開発推進チーム

真境名 慶 氏

JTB沖縄株式会社 着地コンテンツセンター

プログラム

講義①	世界に向けたATのコンテンツ開発・マーケティング手法 マイケル・ジョン・ハリス 氏 ((一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会 理事/株式会社キャニオンズ チーフエクスペリエンスオフィサー)
	- 群馬県みなかみ町で外国人旅行者から支持されているAT事業「キャニオンズ」の事例を紹介した。 - 顧客満足度の高いアクティビティ実践方法や、世界をターゲットとしたマーケティング手法について解説した。 - ハード・ソフトアドベンチャー、アウトドア教育、スノースポーツなど、キャニオンズが展開する多様な事業内容と、それぞれの事業における顧客ターゲット、料金設定、マーケティング戦略などを具体的に説明した。 - 特に、デジタルマーケティングの重要性を強調し、SEO対策、リスティング広告、SNS広告、チャットボット、ポップアップなどの活用方法を具体的に解説した。
講義②	大阪・関西万博を契機としたインバウンド集客について 川村 泰正 氏 ((公社)2025年日本国際博覧会協会 広報・プロモーション局 地域・観光部 審議役)
	2025年大阪・関西万博の概要、テーマ、会場、パビリオン、イベントなどを紹介した。 - 多くの外国人旅行者の来場が見込まれる万博を契機とした、地域への誘客戦略について解説した。 - 万博来場者向けに開設された観光ポータルサイト「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」の特徴、登録方法、掲載基準などを説明した。 - 特に、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」と親和性の高い体験コンテンツの重要性を強調した。
大阪万博の情報提供①	万博観光ポータルサイト・システム登録について 秋葉 めぐみ 氏 (株式会社JTB エリアソリューション事業部 企画・開発推進チーム)
	- 万博観光ポータルサイトのシステム概要と登録フローを説明した。 - 体験旅行商品の予約管理システム「JTB BOKUN」の機能、登録に必要な条件、注意点などを解説した。
大阪万博の情報提供②	万博商品の申請サポートの概要について 真境名 慶 氏 (沖縄JTB株式会社 着地コンテンツセンター)
	- 沖縄・奄美地域の事業者向けに、万博観光ポータルサイトへの商品登録申請と「JTB BOKUN」への登録に関するサポート内容を案内した。 - サポート期間、問い合わせ先、申請フロー、サポート内容などを具体的に説明した。
質疑応答	
	- 参加者からの質問に、講師陣が回答した。 - ジオキャッシングの活用方法、海外旅行会社との連携、デジタルマーケティングの成功事例、万博への期待などについて意見交換が行われた。

● オンライン画面より



告知用ブローシャー／A4サイズ

令和6年度高付加価値なインバウンド観光地づくり事業 アドベンチャーツーリズム推進事業
第2回研修会(全3回のうち2回目)

沖縄・奄美エリア(以下「エリア」)は、高付加価値旅行者の誘客に向けて集中的な支援を行うモデル観光地として観光庁より選定されております。
本事業では、多彩で質の高い観光を推進するため、エリアの豊かな自然と独自の文化を活かしたアドベンチャーツーリズムの実証を行っています。
第2回研修会では、世界にむけたアドベンチャーツーリズムのコンテンツ開発やマーケティング手法について、また、大阪・関西万博を契機としたインバウンド集客に関するご講演をいただきます。アドベンチャーツーリズムの推進においては誘客・プロモーションが大きな課題であり、本研修会は皆様にとって数多くのヒントを得られる機会になるかと存じます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 11月5日(火) 13:00-15:30
※今回はオンラインのみで開催いたします。(後日アーカイブ配信を実施予定です。)

対象 沖縄県および奄美地域の観光関連事業者・自治体・関係団体職員
※参加無料・事前のお申し込みが必要です。(アーカイブ視聴をご希望の方も参加申し込みが必要です)

第2回研修会プログラム概要

1 世界に向けたアドベンチャーツーリズムのコンテンツ開発・マーケティング手法
多くのアウトドアスポーツが存在する群馬県みなみ町では、体験型アクティビティを提供する企業等が複数存在しますが、その中でインバウンド客から特に支持されているのが「キャニオンズ」です。外国人旅行者に対して満足度の高いアクティビティをどのように実践しているのか、また、世界を相手にどんなマーケティングを展開しているのか、その手法について学びます。

講師 マイケル ジョン ハリス 氏
株式会社キャニオンズ
チーフ・リフレッシュ・オフィサー
(一社)日本アドベンチャーツーリズム協議会 理事

2 大阪・関西万博を契機としたインバウンド集客について
2025年、日本では20年ぶりの開催となる大阪・関西万博には、世界各国から多くのインバウンド客が訪れることが予測されています。この大阪・関西万博を契機としたインバウンド客に対する認知拡大や誘客の手法についてご講演いただきます。

講師 川村 泰正 氏
(公社)2025年日本国際博覧会協会
広報・プロモーション局 地域・観光部 課長

なお、事務局より、観光ポータルサイト「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」の活用とサポートについてもご案内します。

参加申し込み
申し込みフォーム(下記URL)にアクセスし、必要事項を入力のうえお申し込みください。
(アーカイブ視聴をご希望の方も参加申し込みが必要です)
【参加申し込みフォームURL】
<https://forms.office.com/r/ZqZeQwvLcG>

参加申込期限: 10月31日(木)まで
右記2次元バーコードでもアクセスできます

主催 沖縄・奄美 共同検討委員会 (沖縄県・沖縄県観光開発金融公庫・内閣府沖縄総合事務局・鹿児島県・九州運輸局)

問合せ先 沖縄・奄美 共同検討委員会 事務局(沖縄JTB株式会社 内) E-mail: at_oki@okw.jtb.jp
【担当: 早稲田・安田・江藤・河村】

<受付方法>

Microsoft Formsに参加申込フォームを開設し、URLまたはQRコードより申込を受け付けた。

研修会参加者数(業種別)

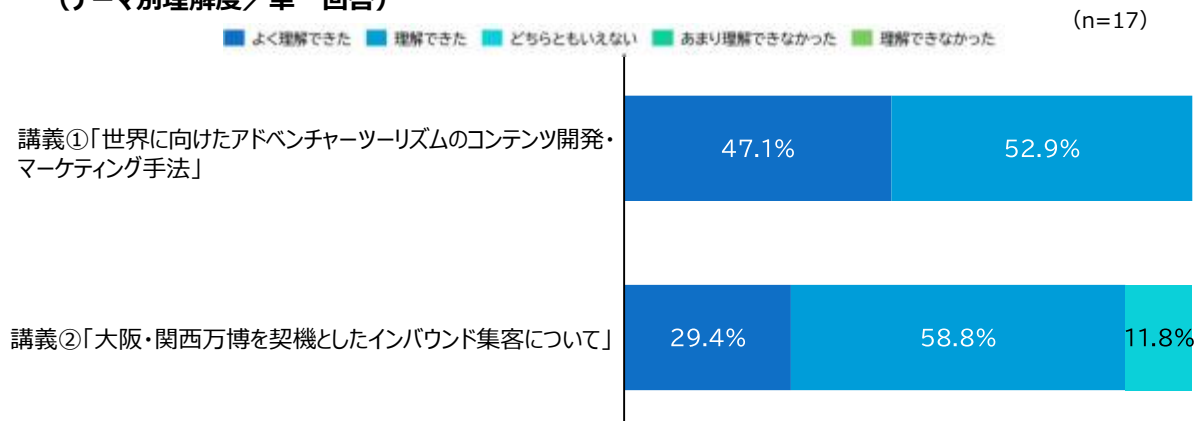
アクティビティ事業者	7
その他観光関連産業団体	2
その他観光関連事業者	13
その他団体	6
観光協会	7

個人	1
行政機関	6
通訳・ガイド業(個人)	11
旅行会社	9

—— 参加者アンケート結果 ——

Q1. 各講義内容はどの程度理解できましたか？

(テーマ別理解度／単一回答)



✓ アンケート回答者のうち、「よく理解できた」、「理解できた」が85%以上を占める。

Q2. 講義①の中で話がありましたアドベンチャーツーリズムのコンテンツ開発やマーケティング手法についての感想を自由に記述ください（講義の感想（講義①）／自由回答）

※青字：今後改善・検討が必要と思われる事項

- デジタルマーケティングについて、実践してみたいです。
- 日本の事業者は価格を下げることで差別化を図ろうとするが、それではお互いの首を絞めるだけというお話にハッとしました。
- 自社でのデジタルマーケティング手法については企業秘密だと思うが、もっと詳しく知りたい。
- 自社メディアで集客した方がお客さまともつながりやすいので、コツコツSNSをやろうと思いました。
- 海外エージェントとの取り組みについてもっと聞きたかった。各地地名には思い入れがあるものの、海外の方がわからないのでは意味がないので思い切った名前の付け方が必要だと理解しました。
- 奄美の場合、旅行社が力を付ける事や行政の観光への取り組み姿勢が必要と感じた。
- 地元の魅力の開発の必要性や新しいタイプや、付加価値の高いコンテンツの開発の必要性を感じた。
- 奄美の素晴らしい自然、文化、言語、食など日本本土との違いを発信する事でより多くの経済効果が期待出来るのではないかと思います。
- マーケティングの手法から4P・ペルソナやターゲット設定・差別化といったポイントや、ブランド作り・ストーリー作り・コンテンツ作りのように作りこむこと。分析・思索・検討・実施・再考のように講師の知識や経験を多く共有させてもらえ意義深いものだった。しかし、時間が短く理解がまだ追いついていない。
- マイクさんの戦略的なマーケティング手法は大変参考になりました。
- 万博という一大イベントのチャンスを大いに活用して何らかの行動を起こすべきだと思います。
- 日本の一般的なアクティビティ市場において、ダンピング問題がどこのエリアでも発生していて、それに対して付加価値をつけて対処するといった考えに同意できた。特に田舎の経営者は自分の主観でターゲットを定めてしまいがちだが、ニーズ分析にインターネットでデータを抽出してそれを元にターゲットを定める方法は参考となった。AIを活用して、実務に取り入れたいと思った。LINE公式アカウントは活用しているが、やはりウェブチャットの存在は大切だと感じた。会社OR個人事業でガイドと雇用する上で難しいシーズナリティを、季節のアクティビティ+教育でカバーしている点が、すごいと感じた、努力したい。
- ストーリーがとても大切であると再認識できた。
- 価格競争になるのではなく、高付加価値をつけることに注力したい。具体的なサイト名も教えていただけたので、早速contents開発に役立てたいと思う。
- サイクリングツアーやウォーキングツアーが人気と聞き、私も地方自治体、例えば八重瀬町のインバウンド向けサイクリングツアーのモニタリングをした事が数回担当させて頂いたり、北中城村、那覇のウォーキングツアーも担当させて頂いた事があるので、可能性が見えてきて安心しました。

Q3. 講義②の中で話がありましたアドベンチャーツーリズムのコンテンツ開発やマーケティング手法についての感想を自由に記述ください（講義の感想（講義②）／自由回答）

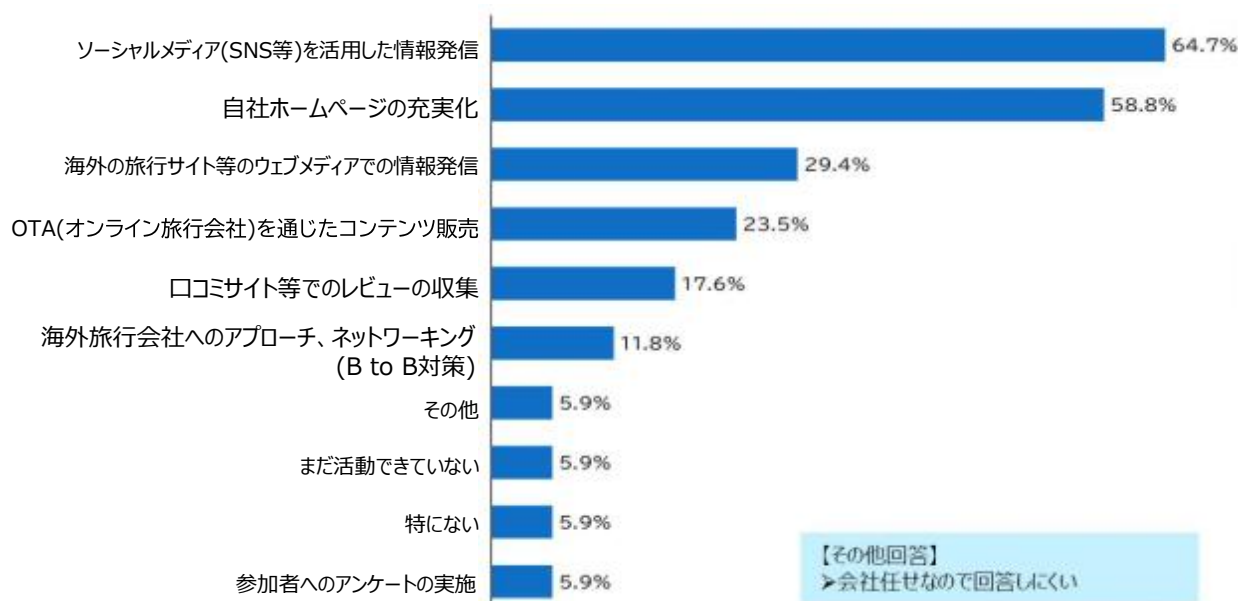
※青字：今後改善・検討が必要と思われる事項

- EXPOへの期待感が高まりました！
- 普段とは違う層のお客様に日本でのATを体感いただくチャンスなので、弊社としてもこの機会を活かしてプロモーションしたいと感じました。
- 自分で作ったコンテンツを登録したいと思った。
- 掲載については、チャンスかと思うので、検討してみます。
- 面白い取り組みではあるが、万博の後に沖縄までくるイメージがなかなか持てなかった。
- 奄美には、富裕層が宿泊できる宿が数件しかない又、都会からのアクセスが限られているので、宿泊とフライトのタイミング良く合うか危惧される。
- 具体的な集客方法商品の売り出し方などの説明は分かりやすかった。
- いのちを考えるうえでは、奄美のノロ、ユタの体験などは非常に興味あるのではないのでしょうか？
- 当方にはまだ関与の少ない部分ではあるが、日本をどのように表現するか？日本の中の多様性をどのように表現するか？またそれがどのように受け止められるのか興味がある。万博でのチャレンジとその効果に注目していきたい
- 大阪万博の観光客を全国に呼び込む仕組みは、初めて知ったので、大変参考になりました。
- オーバーツーリズムも考慮した対策はどうなっていますか？
- 万博概要は規模が大きく、ちょっと私たちの身の丈に合わないと感じたが、そこから波及してくるインバウンドが、私たち末端にも届くのではと感じた。体験商品の掲載基準や、具体例があり、わかりやすかった。間に合うようなら申請チャレンジしてみようと思う。
- 地域と連携しながら慎重に進めたい
- 大阪＝遠方と他人事に捉えていたが、来日者にとっては「日本を旅行する」ということで地方も受け入れ準備をすべきだと感じた。
- 是非、この機会に、沖縄の伝統文化「空手」や「ブルーゾーン」「やんばるの世界遺産」を売りとして、どんどん世界に広めるきっかけにしていきたいと思います。

Q4. アドベンチャーツーリズムの集客に向けたマーケティング活動において重視している点についてお選びください。(複数回答可)

(コンテンツ開発上の課題／複数回答)

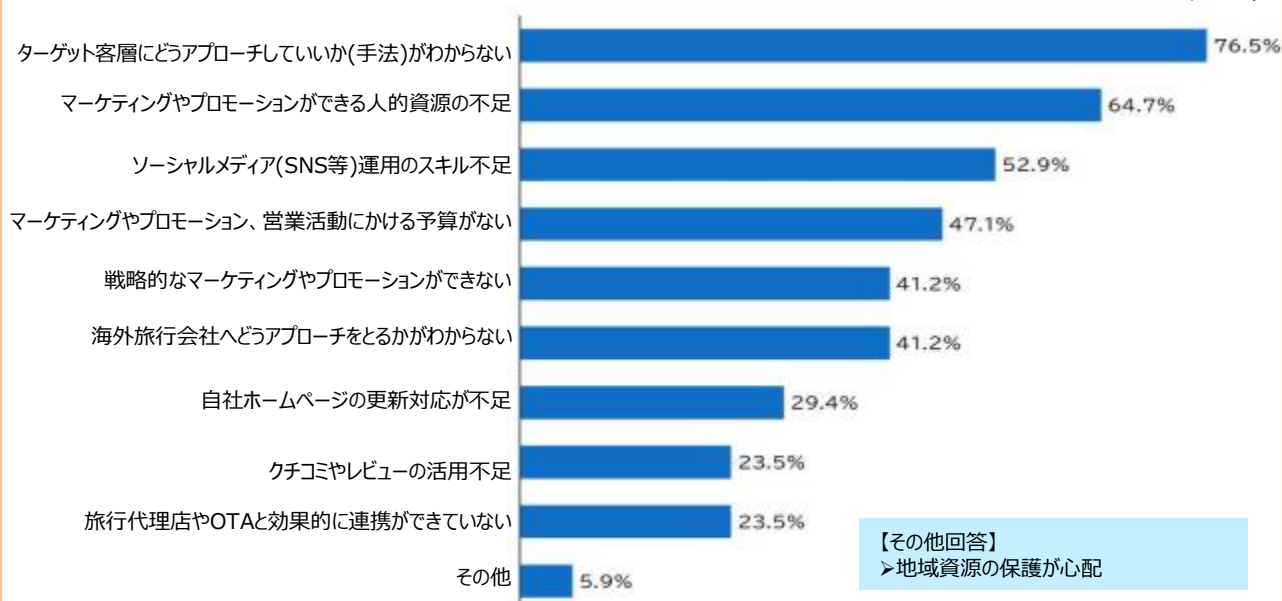
(n=17)



✓ アンケート回答者のうち、「ソーシャルメディア（SNS等）を活用した情報発信」が最も多く、次いで「自社ホームページの充実化」と続く。

Q5. アドベンチャーツーリズムの集客に向けたマーケティング活動において課題だと思う点についてお選びください。(複数回答可) (マーケティング上の課題/複数回答)

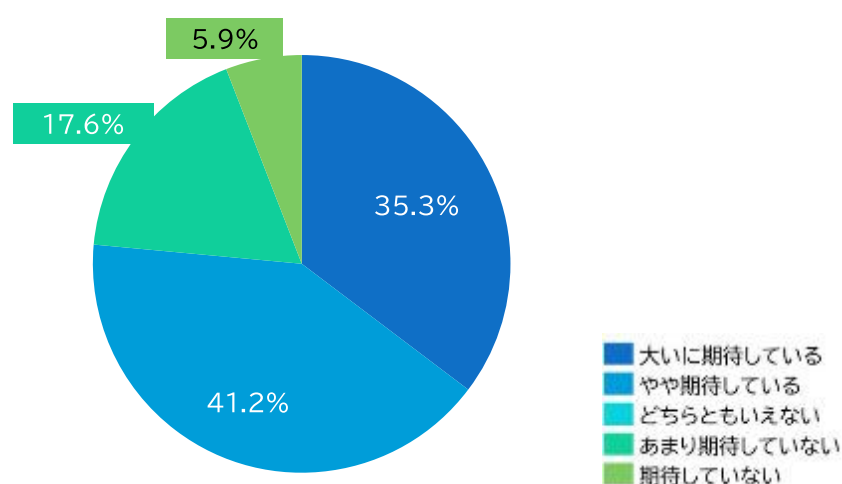
(n=17)



✓ アンケート回答者のうち、「ターゲット客層にどうアプローチしていいか（手法）がわからない」が最も多く、次いで「マーケティングやプロモーションができる人的資源の不足」と続く。

Q6. 大阪・関西万博を契機としたインバウンド誘客にどれぐらい期待していますか。(大阪・関西万博後のインバウンド誘客への期待/単一回答)

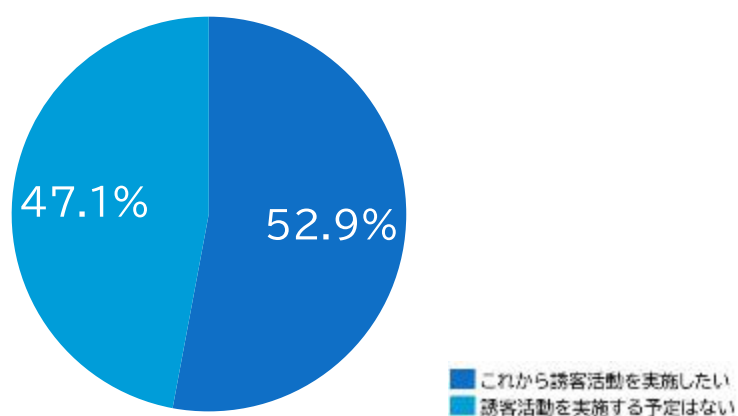
(n=17)



✓ アンケート回答者のうち、約79%が「期待」を選択。

Q7. 大阪・関西万博を契機としたインバウンド誘客にどれぐらい期待していますか。
(大阪・関西万博後のインバウンド誘客への期待／単一回答)

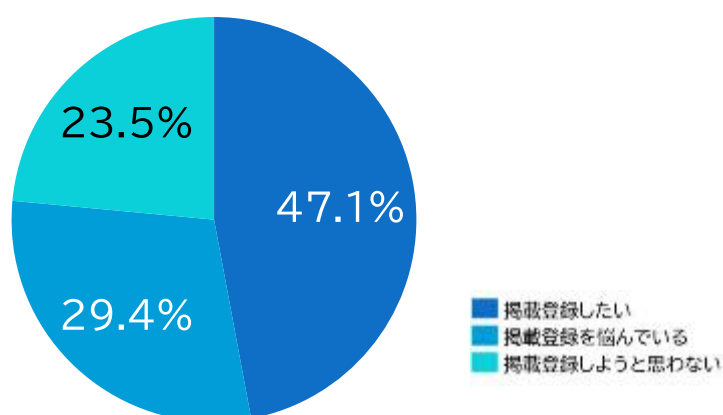
(n=17)



✓ アンケート回答者のうち、約53%が「これから誘客活動を実施したい」を選択。

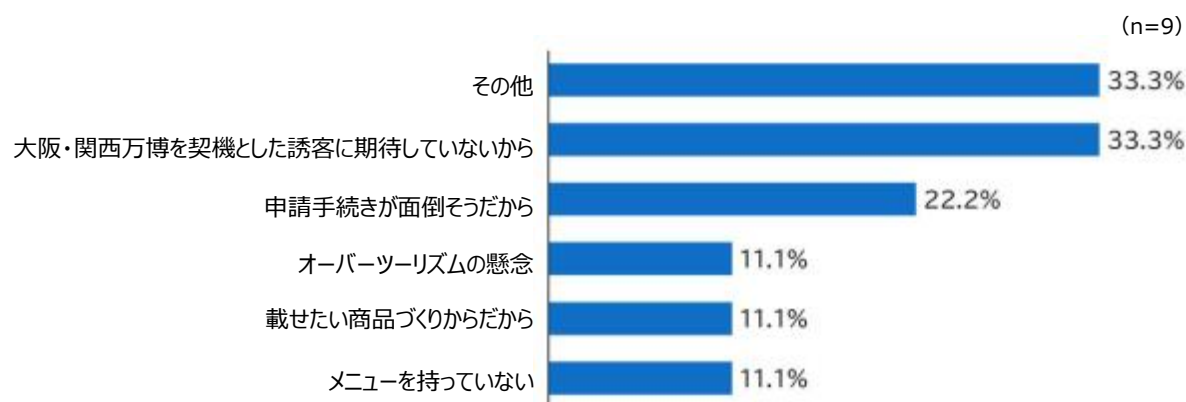
Q8. 本日の講演を踏まえて、「大阪・関西万博 観光ポータルサイト」への掲載登録をしたいと思いませんか。(大阪・関西万博 観光ポータルサイト)への掲載登録／単一回答)

(n=17)



✓ アンケート回答者のうち、約47%が「掲載登録したい」を選択。

Q9. 掲載登録しようと思わない、もしくは悩んでいる理由をお選びください。(複数回答可)
(掲載登録しようと思わない、もしくは悩んでいる理由／複数回答)



【その他回答】

- 当方の体制不十分のため
- 該当商品検討中
- 申請手続きフォーム等を記入する時間・労力がないから

✓ アンケート回答者のうち、その他を除き「大阪・関西万博を契機とした誘客に期待していないから」が最も多く、次いで「申請手続きが面倒そうだから」と続く。

Q10. その他、ご質問やご意見がございましたらご記入ください。
(その他感想等／自由回答)

※青字：今後改善・検討が必要と思われる事項

- マイクさんのお話は、大変参考になりました。学びの機会をいただきまして、ありがとうございました！
- 本研修が旅行社や事業者への内容が濃く、会社所属のメンバーには回答しづらかった。
- 今回の研修は大変勉強になりました。関係者の皆様に深く感謝申し上げます。どうもありがとうございました
- 業界の動きを学ぶことが出来て、大変有意義な研修でした。ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。
- 大阪万博に来た客がどのくらい地方に流れるか、どのくらいの年齢層が来日するか分からないので、アドベンチャーツーリズムを考えた場合、来日してからのプランになるのかな？

第3回 研修会

日時	2024年12月5日（木） 14:00～16:00
開催形式	オンライン ※アーカイブ配信あり
対象	沖縄県及び奄美群島内の観光関連事業者、自治体・関係団体職員
参加費	無料 ※事前申込制
参加者数	オンライン参加21名／アーカイブ視聴者20名 https://youtu.be/Ytn32kj081M?si=qpcIn4tzWn350kBS
主催	沖縄・奄美 共同検討委員会 (沖縄県・沖縄振興開発金融公庫・内閣府沖縄総合事務局・鹿児島県・九州運輸局)
主な内容	●講義① 「訪日外国人旅行者受入における法令遵守と危機管理について」 ●講義② 「事故から学ぶAT推進に向けたリスクマネジメント」

講師プロフィール

宮下 彰 氏

一般社団法人日本旅行業協会 審議役 法定業務統括部長
法令遵守についてセミナー実績の多数がある。

早川 修 氏

早川総合法律事務所 弁護士

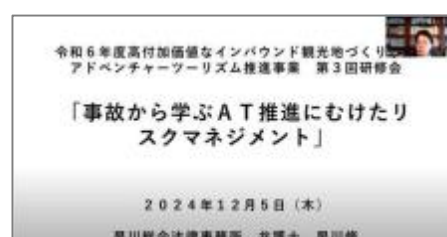
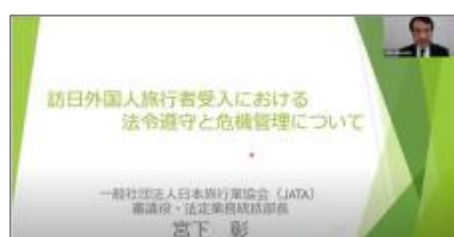
さまざまな省庁で自然のなかでの活動における安全に関する役職を歴任。2003年のリバーラフティング転覆事故を契機に、リスクマネジメントの研修活動を展開。アウトドアの第一人者として、「事故事例から学ぶ危機管理」講座など、安全意識の向上に貢献している。



プログラム

講義①	訪日外国人旅行者受入における法令遵守と危機管理について 宮下 彰 氏（一般社団法人日本旅行業協会 審議役 法定業務統括部長）
	● AT推進において理解すべき旅行業法の考え方や、訪日インバウンド市場でランドオペレーターとして活動するために必要な「旅行サービス手配業登録」について解説した。 ● 旅行サービスを提供する際に遵守すべき法的要件を詳しく学び、リスク管理やトラブル回避のための実践的な手法に触れた。 ● 適切な法令遵守を通じて、安全で信頼性の高いサービス提供を目指すために必要な知識について解説した。 ● 旅行業法の目的、定義、これまでの変遷、旅行業の現状（業務の違い、事業者数など）について解説した。 ● 第3種旅行業、地域限定旅行業、旅行サービス手配業の違い、旅行サービス手配業を開始するにあたっての手続きのアウトラインについて解説した。 ● 旅行業法理解の増進及び法令遵守の重要性を強調した。 ● その他の留意事項として、道路運送法における許可または登録を用いない運送に関するガイドラインについて解説した。
講義②	事故から学ぶAT推進に向けたリスクマネジメント 早川 修 氏（早川総合法律事務所 弁護士）
	● AT推進におけるリスクマネジメントの重要性について解説した。 ● 事故事例をもとに、危機管理の具体的な手法や安全対策のポイントを具体例を交えて解説した。 ● AT推進においては、旅行者の安全確保だけでなく、地域の信頼を得るためにもリスクマネジメントが重要であることを強調した。 ● 事前の準備や緊急時の対応策を含め、実践的なノウハウをもとに、具体的な対策について解説した。 ● 東京ディズニーリゾートにおけるリスクマネジメントの事例を紹介し、安全を最優先事項として事業を構築することの重要性を解説した。 ● 事故は現場で起きるという原則を踏まえ、現場に立つ全員がリスクマネジメントについて考える必要性を強調した。 ● 過去の事故事例を分析し、教訓を共有することで、同様の事故の発生を防ぐことの重要性を解説した。 ● リスクの洗い出し、分析、評価、対策といったリスクマネジメントのプロセスを具体的に説明した。 ● ATのガイドスタンダードを紹介し、安全確保のための訓練の重要性を強調した。 ● 自己予防、応急手当、事故発生時の対応に関する訓練の必要性を解説した。 ● 事業者間での情報共有や、関係機関との連携の重要性を強調した。
質疑応答	
	参加者から、スルーガイドの安全管理義務について質問があり、講師が以下のように回答した。 ● ツアー全体の安全管理に責任を負う立場にある場合は、スポットガイドへの指導監督義務が生じ、責任を問われる可能性がある。 ● スポットガイドの判断を尊重しつつも、安全面に懸念がある場合は中止を指示する権限を持つことが重要である。 ● 口頭だけでなく、メールなどで記録を残しておくことが重要である。

● オンライン画面より



告知用ブローシャー／A4サイズ

令和6年度高付加価値なインバウンド観光地づくり事業 アドベンチャーツーリズム推進事業
第3回研修会(全3回のうち3回目)

沖縄・奄美エリア(以下「エリア」)は、高付加価値旅行者の誘客に向けて集中的な支援を行うモデル観光地として観光庁より選定されております。本事業では、多彩で質の高い観光を推進するため、エリアの豊かな自然と独自の文化を活かしたアドベンチャーツーリズム(以下AT)の実証を行っています。

第3回研修会では、AT推進における「リスクマネジメント」と「法令遵守」をテーマに、アウトドア活動における全国各地の事故事例をもとにした危機管理と安全対策、さらにランドオペレーターとして活動するために必要な「旅行サービス手配業登録」の重要性や、旅行業法に基づいた法令遵守のポイントについて解説します。本研修会では、ATにおける安全対策と法的準備に関する実践的な知識を深める貴重な機会となりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 12月5日(木) 14:00-16:00
※今回はオンラインのみで開催いたします。(後日アーカイブ配信を実施予定です。)

対象 沖縄県および奄美地域の観光関連事業者・自治体・関係団体職員
※参加無料・事前のお申し込みが必要です。(アーカイブ視聴をご希望の方も参加申し込みが必要です)

第3回研修会プログラム概要

1 訪日外国人旅行者受入における法令遵守と危機管理について
AT推進において理解すべき旅行業法の考え方や、訪日インバウンド市場でランドオペレーターとして活動するために必要な「旅行サービス手配業登録」について解説します。
旅行サービスを提供する際に遵守すべき法的要件を詳しく学び、リスク管理やトラブル回避のための実践的な手法にも触れます。適切な法令遵守を通じて、安全で信頼性の高いサービス提供を目指すために必要な知識について学びます。

講師
宮下 彰 氏
一般社団法人日本旅行業協会
審議役 法定業務統括部長

2 事故から学ぶAT推進にむけたリスクマネジメント
弁護士であり、アウトドア活動のリスクマネジメントの第一人者である早川氏より、AT推進におけるリスクマネジメントの重要性について解説いただきます。
事故事例をもとに、危機管理の具体的な手法や安全対策のポイントを事例を交えて学びます。
AT推進においては、旅行者の安全確保だけでなく、地域の信頼を得るためにもリスク管理が重要な要素です。本講座では事前の準備や緊急時の対応策を含め、実践的なノウハウをもとに、具体的な対策について学びます。

講師
早川 修 氏
早川総合法律事務所 弁護士

参加申し込み
申し込みフォーム(下記URL)にアクセスし、必要事項を入力のうえお申し込みください。
(アーカイブ視聴をご希望の方も参加申し込みが必要です)

【参加申し込みフォームURL】
<https://forms.office.com/r/GTrfnDINxb>

右記2次元コードでもアクセスできます。

参加申込期限: 11月29日(金)まで

主催 沖縄・奄美 共同検討委員会 (沖縄県・沖縄振興開発金融公庫・沖縄県庁・沖縄総合事務局・鹿児島県・九州運輸局)

問合せ先 沖縄・奄美 共同検討委員会 事務局(沖縄JTB株式会社 内) E-mail: at.oki@okw.jtb.jp
[担当: 早川氏・安田・立藤・河村]

<受付方法>

Microsoft Formsに参加申込フォームを開設し、URLまたはQRコードより申込を受け付けた。

研修会参加者数(業種別)

アクティビティ事業者	8
その他観光関連産業団体	2
その他観光関連事業者	3
その他団体	4
観光協会	6

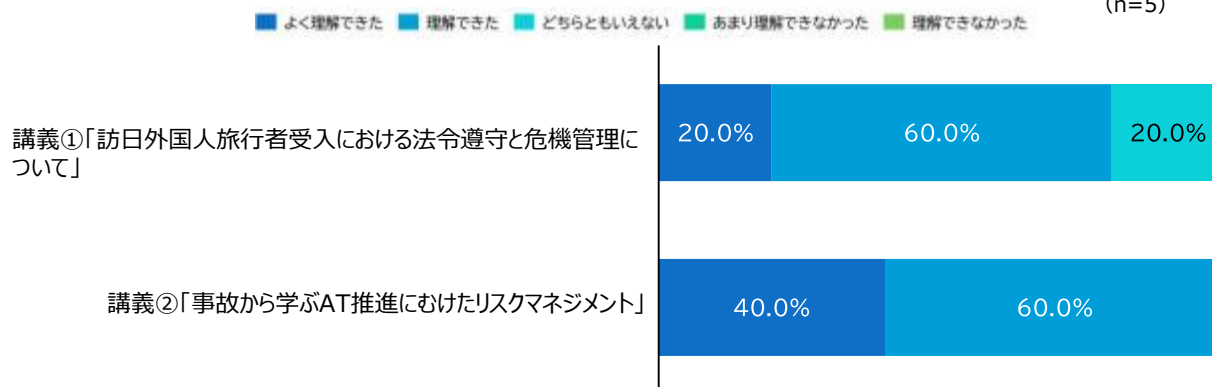
個人	1
行政機関	6
通訳・ガイド業(個人)	8
旅行会社	3

参加者アンケート結果

Q1. 各講義内容はどの程度理解できましたか？

(テーマ別理解度／単一回答)

(n=5)



✓ アンケート回答者のうち、80%以上が「よく理解できた」、「理解できた」を回答。

Q2. 講義①の中で話がありました、旅行サービス手配における法令順守についての感想を自由に記述ください。(講義の感想(講義①)／自由回答)

※青字：今後改善・検討が必要と思われる事項

- 知るべき情報がまとまっていて良かった。
- 外出先での視聴だったので理解が不十分な箇所もありました。旅行手配事業は行っていない事業なので何とも言えません。
- 地域限定旅行業を勉強しましたが、あまりよくわかっていなかった部分をご説明いただいたので、大変ありがたい時間でした。また繰り返し動画で勉強させていただきます。ありがとうございました。
- 関連法について基礎から詳しく説明してくださり大変ためになりました。新しい法律でできた地域限定や手配サービスに関しては誤解していたことも多いと思いました。最近ではガイドさんが自分で作ったツアーをOTAで販売し、車両等を手配しているケースが散見されますが、やはりこれはグレーではなく違法行為なのだと思うのですが…取り締まりはないのですよね…
- 旅行サービスの区分けについて、知らない事が多かったが、しっかり区分けされた中でのサービスを教えられた。

Q3. 講義②の中で話がありました、ATにおけるリスクマネジメント(旅行者の安全確保、地域におけるリスク管理等)についての感想を自由に記述ください。

(講義の感想(講義②)／自由回答)

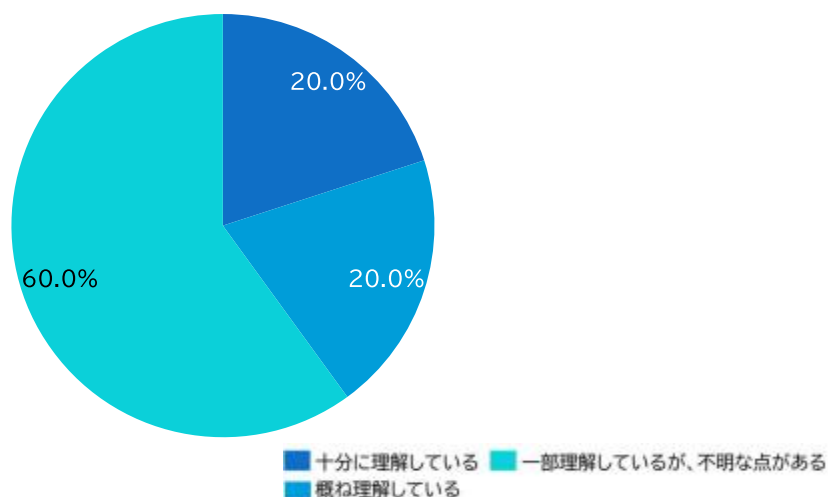
※青字：今後改善・検討が必要と思われる事項

- スルーガイドの責任という点では、経験豊富なガイドでなければ難しいことが予想される。人材育成をどのようにしていくかが課題になりそう。
- マリンアクティビティ事業は参入障壁の低さから事業所ごとの安全意識にも大きく差が有るように感じています。また事故が起これば事業者側の責任度合いは高いように思われリスク管理に費用を掛ければツアー料金も高くなり低料金を前面に出している事業所との差を利用者には分かりづらいのが現状だと思います。
- 実際の事例をお話いただいたので、旅行関係のお仕事をするために、大変大切なお話で勉強になりました。大事な勉強の機会をありがとうございました。
- ATに関わるようになった去年からリスクマネジメントについて考えさせられます。応急処置等安価に受けられるものは個人負担で研修に参加しやすいのですが、ウィルダネス関連のものはかなり金銭的な負担が多いのが現状で、ATの業務量が増加しないとスルーガイドにとってはなかなか負担感のあるものです。スルーガイドも含めてのウィルダネス関連の実地研修もご検討いただければ幸いです。
- ガイドする上での事前の知識としてはとても役に立つ内容だった。

Q4. 複数日間にわたるツアーや宿泊を伴うアクティビティ提供時に、旅行業法に基づく安全管理や法令遵守の重要性について、どの程度理解していますか？

(旅行業法に基づく安全管理や法令遵守の理解度／単一回答)

(n=5)

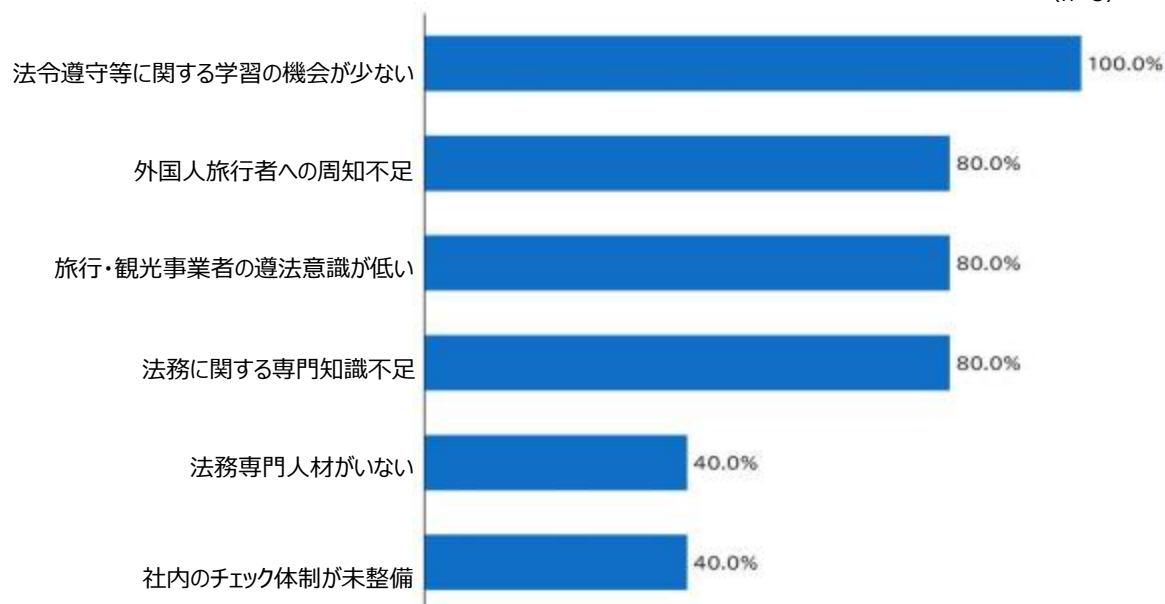


✓ アンケート回答者のうち、約60%が「一部理解しているが、不明な点もある」を回答。

Q5. 法令順守の面で課題だと思う点をお選びください。(複数選択可)

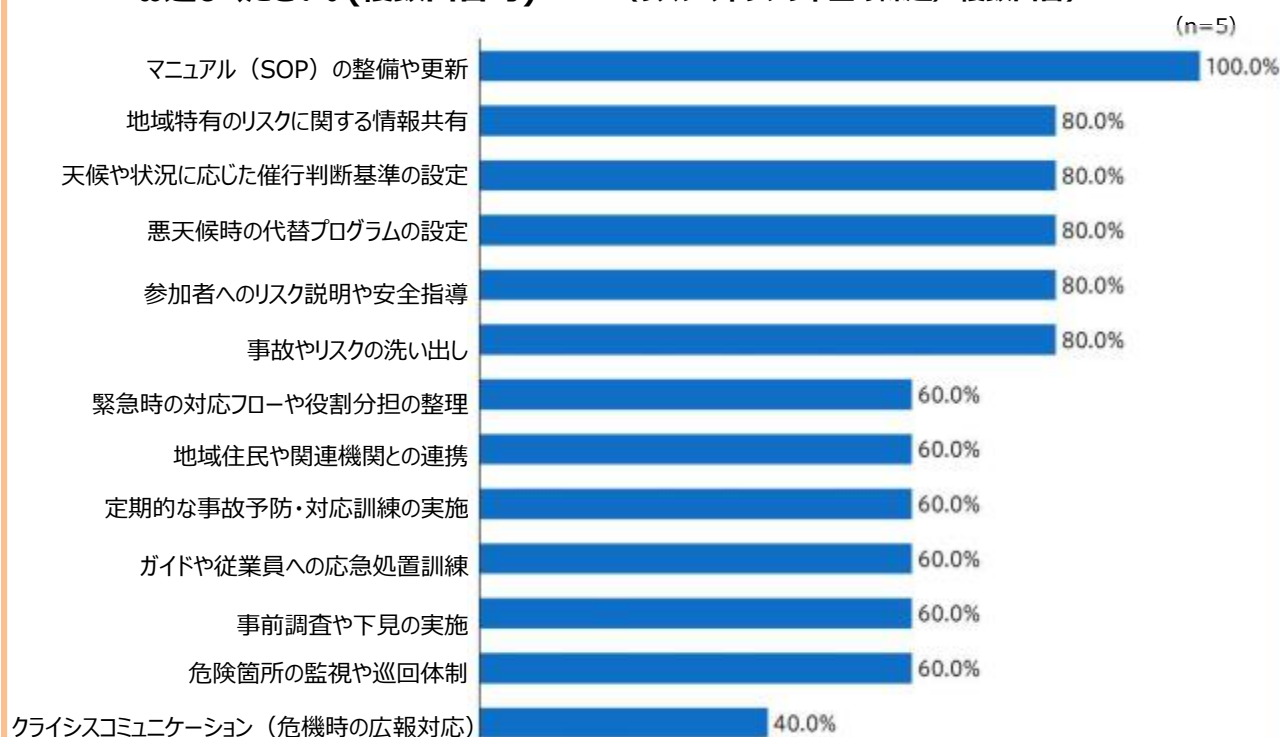
(法令順守上の課題／複数回答)

(n=5)



✓ アンケート回答者のうち、「法令遵守等に関する学習の機会が少ない」が最も多く、次いで同列で「外国人旅行者への周知不足」、「旅行・観光事業者の遵法意識が低い」、「法務に関する専門知識不足」と続く。

Q6. アドベンチャーツーリズムにおけるリスクマネジメントにおいて課題と感じた点についてお選びください。(複数回答可) (リスクマネジメント上の課題／複数回答)



- ✓ アンケート回答者のうち、「マニュアル（SOP）の整備や更新」が最も多く、次いで同列で「地域特有のリスクに関する情報共有」、「天候や状況に応じた催行判断基準の設定」、「悪天候時の代替プログラムの設定」、「参加者へのリスク説明や安全指導」と続く。

Q7. その他、講師へのご質問や本事業に関するご意見がございましたらご記入ください。。(その他感想等／自由回答)

※青字：今後改善・検討が必要と思われる事項

- 日本人との感覚の違い（何を求めている？）何にお金を払ってもいいのか？安全意識はどう違う？日本は安全は事業者、海外は自己責任の意識が高い？**受け入れを躊躇している事業所の悩みごとの解決や相談事を聞いて欲しいです。**
- 地域や沖縄県内でつながって、情報共有する場があるとありがたいなと思いました。また、WMAJのADVANCEコースを受講したのですが、**学習内容が、マニアックすぎて沖縄の現場で本当に使いたい欲しかった情報ではなかったと感じました。**WMAJをATでは推奨されていますが、沖縄に関しては、**沖縄用のベーシックな学習コースが欲しいです。**
- 本日の研修は非常に有意義なものでした。改めて関連法について整理していただき、リスクマネジメントについてはケーススタディで具体例を学び、山下さんの質問によりスルーガイドへの責任についても問われる可能性があることを改めて認識することができました。今回は関連事業者様のみへの研修でございましたが、是非多くの通訳ガイドにも知ってほしい内容が含まれており、5年に一度の法定研修で取り扱ってもらえればと思いますが… 沖縄県でスポットガイドになるようなネイチャーガイドさんたちは意識の高い方が多いと感じます。スルーガイドに適任者が多いと思われる通訳案内士も、全国資格保持者以外の県の育成した地域通訳案内士は定期法定研修もないので、ガイド全体の意識向上が課題と感じます。貴重な研修をありがとうございました。

研修会総括

＜沖縄・奄美AT推進において今後取り組むべきこと＞

①ターゲットの明確化	ブルーゾーン、長寿文化、生きがいツーリズムといったキーワードを軸に、高付加価値旅行者をターゲットとして明確化する。
②高付加価値商品の造成	地域の自然、文化、歴史を活かした、特別な体験を提供できる商品を造成する。教育的要素や意識向上を促すコンテンツを盛り込み、自己変容を促す体験を提供する。少人数制やサステナビリティを意識した、持続可能な観光商品を開発する。ストーリーテリングを通して、地域の魅力を効果的に伝え、共感を呼ぶ体験を提供する。顧客ニーズを捉え、多様な旅行スタイルに対応する商品を開発する。価格設定においては、地域の価値を正しく反映し、自信を持って販売できる価格を設定する。
③効果的なプロモーション	デジタルマーケティングを活用し、ターゲット層へ効果的に情報発信を行う。ウェブサイトやSNSで積極的に情報発信し、魅力的な写真や動画を活用する。大阪・関西万博を契機としたプロモーション活動を実施し、誘客につなげる。BtoB、BtoCの両方に対応した商品造成とマーケティング戦略を展開する。
④安全対策と危機管理の徹底	リスクマネジメントを徹底し、旅行者の安全確保と地域住民との信頼関係構築を図る。ガイドの育成、安全管理体制の強化、危機発生時の対応マニュアル整備などに取り組む。関係機関との連携体制を構築し、地域全体で安全対策に取り組む。
⑤持続可能な観光への貢献	自然環境の保全、地域文化の尊重、地域経済への貢献を意識した事業展開を行う。地域住民との共存共栄を図り、観光客と地域住民双方にとってメリットのある観光を実現する。

(5) 仮説検証

求心力のある商品造成に向けて、コンセプト、ストーリーの整合性、コンテンツのクオリティに加え、現地での運営上の課題や改善点、ツアーに同行するスルーガイドのガイディングスキルの状況を把握するために、検証の機会を設けた。

また、海外旅行エージェントに対し、コンテンツの訴求力をどのようにアピールすべきか、ATとしてのツアーの質を高めるために何が求められるか、ヒアリングやプロモーション等を行った。

実踏／研修

専門家による課題の抽出及び解決

(9/3～6 モニターツアー)

スルーガイド研修

(事前調査 9/19・10/30)

(本研修 11/7～8)

調査／販促

FAMトリップ

(11/16～20沖縄／11/20～24奄美)

メディアを活用した情報発信

(Outdoor Japan]との連携)

商談会等によるPRおよび情報交換

(VJTM／Adventure Week沖縄)

JTBグループのマーケティング活動

(海外旅行博によるアンケート調査等)

B2B営業活動

その他B2Cへの情報発信

① 専門家による課題の抽出及び解決

沖縄・奄美におけるATコンテンツに資する資源・取組を整理し、自然・文化等の地域資源を活用した観光資源の発掘・課題抽出・解決を図り、磨き上げを行った。

20年以上の実績を持つAT専門の「outdoorJapan」のロビンソン編集長にもツアーを体験いただき、各コンテンツの実態調査を兼ねた取材を実施した。また、観光業のプロであるガイド10名にも研修を兼ねプログラムを体験いただき、地域資源の魅力の引き出し・活用方法へのフィードバックを行った。さらに、各フィールドワークでは、関係者との意見交換を行い、活用する地域資源、行程内容等を検証した。

専門家プロフィール

ガードナー・ロビンソン 氏

Outdoorジャパン編集長

雑誌『アウトドア・ジャパン』を創刊。現在もアウトドアジャパンの初代ディレクター、アウトドアジャパンのトラベラー誌編集長を務めている。夏は沖縄、冬は野沢温泉の2拠点生活を送っており、沖縄の観光・アクティビティについても精通している。



ツアーコンセプト

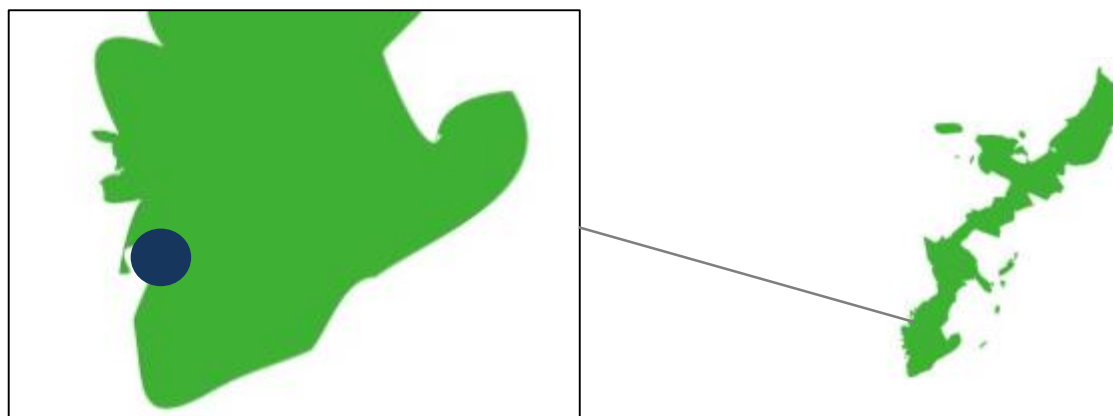
地域	糸満（沖縄）／ 奄美大島（鹿児島）
地域で伝える 価値・コンセプトの方向性	沖縄・奄美地域のツアーは、豊かな自然資源と長寿文化に触れることで、自身の「生きがい」を見つめ直し、自己変革を促す旅。沖縄・奄美の人々は、自然との共生を大切にし、地域社会との絆やシンプルで健康的なライフスタイルを守りながら、長寿を全うしている。 このツアーでは、訪問者はガイドと共に自然の中を歩き、その土地ならではの風景や文化、地域の人々の生き様に触れる。伝統的な食事や自然との関わりを通じて、「生きがい」を見出すヒントを得ることで、自らの人生に新たな視点をもたらし、より豊かな人生を築ききっかけとなる。沖縄・奄美の人々の知恵に学び、自身の生き方を再発見する旅である。

糸満／行程内容

帆掛サバニ・アドベンチャーツアー

琉球に息づく「海人(うみんちゅ)文化」を体感する

Highlight	1. イマイユ市場から特別許可をいただいたエリアでの迫力あるセリ見学 2. 本格的な帆掛サバニに乗って、沖縄独特の海人文化満喫 3. 環境に配慮した移動手段としてグリーンスローモビリティを利用
Overview	沖縄南部の海人文化にのめり込む旅 糸満エリアは、かつて沖縄県が琉球王国だった時代から漁業の町として栄えてきた。そんな海人文化の起点である糸満がルーツの伝統木造漁船「帆掛サバニ」で海に漕ぎ出す。小さな島国「琉球」で、その身ひとつで大海原と向き合ってきた糸満海人の歴史は、沖縄が生み出した興味深い物語がたくさん存在する。サバニツアーは、環境配慮型のスポーツアクティビティとして、移動もグリーンスローモビリティを利用するので、地域の文化・風習、水産業の現状や、糸満で大切にされる旧暦の話など、静かにお客様と話しながら、街中を歩けるようなスピードでゆったりとツアーは進む。海人の文化を体験し、自然の豊かさと厳しさを学ぶことは、他の海洋文化にも関心を持つきっかけになる。
Itinerary	早朝5時、イマイユ市場から旅が始まる。 通常は2階通路からしか見学できないセリの様子を、特別な許可を得て仲買人の間近で見学する。朝食はグリーンスローモビリティで、地元のレストランに移動。特別に早朝にオープンいただき、マグロの丼に自分で摘んだ海ぶどうを載せて食す。 その後は再びグリーンスローモビリティに乗り込み、サバニ乗船の安全祈願のために白銀堂へ。糸満ハーレーや糸満大綱引など、旧暦行事の祭祀が執り行われる地域の方々が大切にしている拝所で、お堂の中には自然の石筍が氏神として祀られている。そしていよいよ帆掛サバニへ。帆を掛けて風を利用し、ウェークと呼ばれる櫂（かい）で水をかき進む。また、タマウーキ（箱めがね）を利用し、海の中の色鮮やかな魚やサンゴの観察も行う。サバニ乗船の後は、日本に残る唯一の釘を一切使わない木造船の作り方について学び、職人により受け継がれる伝統の技の未来について思いをはせながらツアーは終了する。



奄美／行程内容



1日目／9月3日（火）	
時 間	予 定
14:50	奄美空港到着、スルーガイドがお出迎え
15:10～16:10	専用車（ジャンボタクシー）にて移動
16:10～16:40	奄美大島世界遺産センターにてツアーオリエンテーション
16:40～18:10	専用車にて移動（宇検村経由） ※翌日の湯湾岳サイクリングのプロローグ
18:10	ホテルチェックイン、Eバイクギア確認・調整
18:30	ホテルにてバーベキューの夕食
宿泊先	大和村 民宿さんごビーチ

2日目／9月4日（水）	
時 間	予 定
	ホテルにて朝食後、Eバイクで出発
08:30～12:30	湯湾岳Eバイクサイクリング ※湯湾岳9号目駐車場までの片道、山頂にてお弁当
12:30～14:00	専用車にて移動
14:00～16:30	マングローブカヤック体験 ※干潮から満潮へ 景色や生き物の違いを体感
16:30～17:30	専用車にて移動
18:30	徒歩にて吟亭へ（夕食・郷土料理とシマ唄）
宿泊先	奄美市 ホテルサンデイズ奄美

3日目／9月5日（木）	
時 間	予 定
	ホテルにて朝食後、専用車にて出発
09:30～10:00	黒糖焼酎工場見学（富田酒造）
10:30～12:00	大島紬村見学
13:30～15:30	肥後染色にて泥染め体験
16:00～16:30	ティダムーン取材
宿泊先	奄美市 ティダムーン（編集長） ホテルサンデイズ奄美（随行者）

4日目／9月5日（木）	
時 間	予 定
	ホテルにて朝食後、専用車にて出発
09:00～10:00	ツアーフィードバック
11:15	奄美空港出発

<1日目-1>

●イマイユ市場 セリ体験

早朝5時、スルーガイドのルドさんと糸満漁港に合流して、軽いアイスブレーキングしてからさっそくツアーを開始する。約1時間、糸満の漁港にある新しい施設「イマイユ市場」に入ってセリを見学して、その臨場感を体験する。沖縄ならではの魚や魚介類、沖縄ならではの漁法について市場を管理するプロフェッショナルである、水産公社の神谷良成氏から説明があった。施設が新しくなって以降、衛生上厳しく、普段できない体験である、今回は特別許可を得て入っていること、今後も少人数を受け入れ続ける体制について説明した。有識者から、このセリ体験が沖縄南部の漁業のスケールと、現代ならではの衛生管理が伝わる体験として価値を演出できているとコメントいただいた。



●グリーンスローモビリティを利用して海人のまちを散策

ただの車ではなく、GSM（グリーンスローモビリティ）を利用してまちを散策しながら次のメインアクティビティである帆掛サバニに向かう。海人の聖地である白銀堂に一旦足を止めて、地域の文化について説明。漁師は危険な仕事であることと自然の恵みによって左右される生活であることから、海人文化にはアニミズムの信仰が強いことを説明した。有識者からは、この部分が面白くて、もっと時間かけて深掘りしてもいいとアドバイスがあった。



●帆掛サバニ体験

まち散策を終えて、朝の7時、漁船の修理場のすぐ隣にあるサバニ浜にたどり着く。3時間のサバニ体験が開始。スタッフ2名とガイド1名で、ゲストを3名に安全装備、基本の漕ぎ方と安全情報を伝えて、海人の伝統木船「サバニ」を乗る。最初の20分間は、帆を上げずに安定した漁港の中に漕ぎの練習を少ししてから、糸満海人の漁場であるイノー（礁池）に向かう。少し緊張感を味わってから、無人島のイジナを一周して、地域のハーレと信仰の説明してから北名城の浜に船を付けて、そのままビーチから朝食の休憩を挟む。海ぶどうの朝食を食べてから、順風満帆で出発点であるサバニ浜に戻る。有識者から、精神的に挑戦のレベルが高めなので、アクティビティの流れ（帆なしの練習は何分か、いつ帆をあげる、船が傾く、船は沈まない理由）を、途中ではなく、乗る前に説明した方が安心感があるとアドバイスがあった。

